





旧ケアセンターおおつ棟改修工事

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
建築			電気設備			機械設備		
A-1	特記仕様書1	1:---	E-1	電気設備工事 特記仕様書1	1:---	M-1	機械設備特記仕様書1	1:---
A-2	特記仕様書2	1:---	E-2	電気設備工事 特記仕様書2 現況 改修後 分電盤結線図	1:---	M-2	機械設備特記仕様書2	1:---
A-3	特記仕様書3	1:---	E-3	現況 コンセント設備平面詳細図	1:50	M-3	メーカーリスト	1:---
A-4	配置図 現況1・2階案内図	1:800・200	E-4	改修後 コンセント設備平面詳細図	1:50	M-4	現況 改修後 給排水設備平面詳細図	1:50
A-5	内部仕上表	1:---	E-5	現況 改修後 電灯設備平面詳細図	1:50	M-5	新設 機器リスト 現況 改修後 空調設備平面詳細図	1:50
A-6	現況 1階平面図	1:100	E-6	改修後 空調設備平面詳細図	1:50	M-6	現況 改修後 換気設備平面詳細図	1:50
A-7	現況 平面詳細図	1:50	E-7	現況 改修後 自動火災報知設備平面詳細図	1:50			
A-8	改修後 平面詳細図-1	1:50						
A-9	改修後 平面詳細図-2	1:50						
A-10	改修後 平面詳細図-3	1:50						
A-11	現況 展開図	1:50						
A-12	改修後 展開図-1	1:50						
A-13	改修後 展開図-2	1:50						
A-14	建具特記仕様書	1:---						
A-15	現況 改修後 建具配置図 建具リスト 現況 改修後 天井伏図	1:50・100						
A-16	厨房機器配置図 厨房機器リスト	1:50						

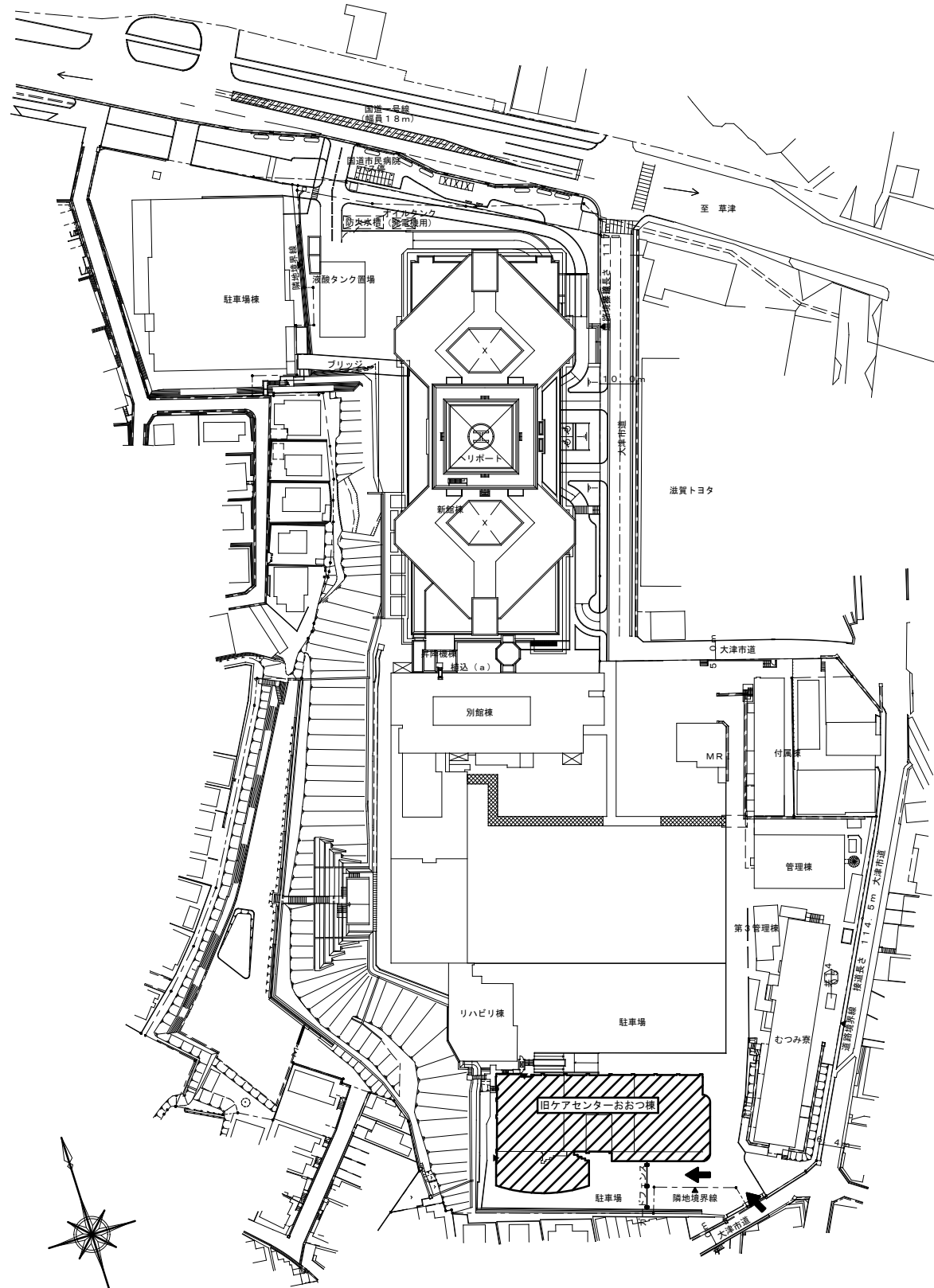
地方独立行政法人市立大津市民病院

Main project specification table with multiple columns for different work items (e.g., 鉄筋工事, コンクリート工事, 防水工事) and their detailed specifications, materials, and construction methods.

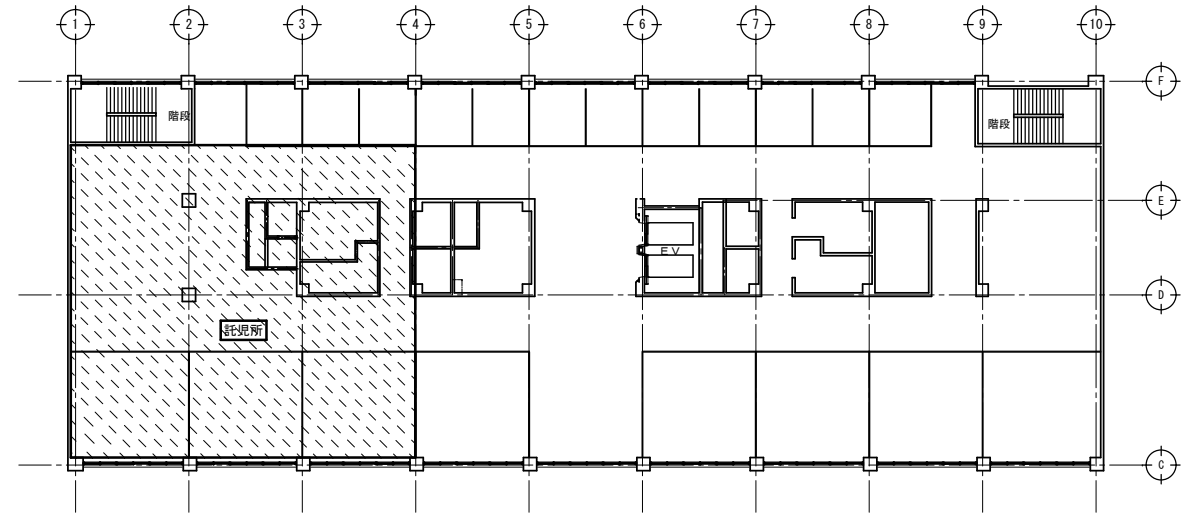
Footer table containing project information: FILE No., 工事名 (Old Keisei Center Office Renovation Work), SCALE, and No. 2.

凡 例	
	工事建物を示す
	ガードフェンスを示す
	交通誘導員(延20人程度)を示す
	工事車輛進入口を示す

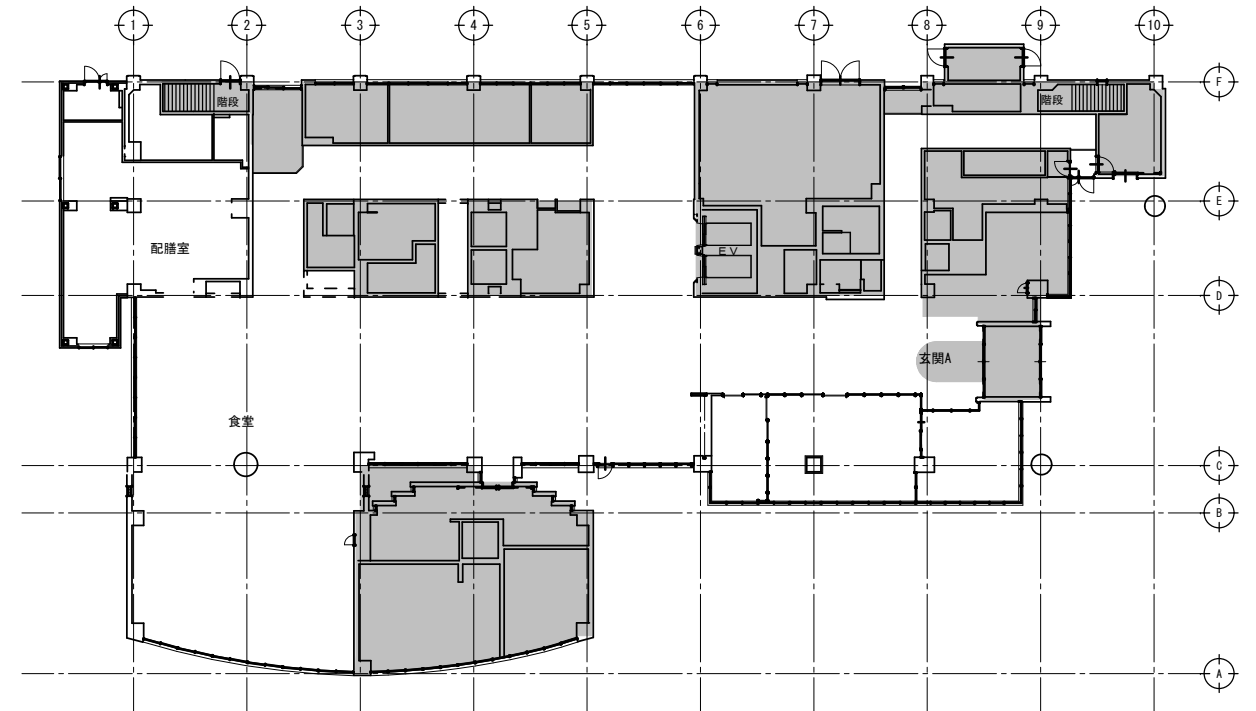
※施工条件※
 ・大津市民病院利用者や職員の安全を第一とし細心の注意を払うこと。
 ・旧ケアセンターおおつ棟の2階は、託児所として利用しており、改修範囲を通り外部との出入りしている為、細心の注意を払うこと。
 ・改修時はコーン等で作業範囲を明確にし、施工を行うこと。
 ・施設利用者の安全確保や事故防止に努めるとともに工事車両の徐行の徹底、資材置場の整理、保管を励行すること。
 ・施設側の予定確認し投業に影響を及ぼさないよう工程を立てること。
 ・騒音作業は、予め予定を監督員及び施設側に連絡し了承を得ること。
 ・大型車輛の入场時は、交通誘導員を配置し工事車輛を誘導すること。



配置図 1:800



現況 2階案内図 1:200 託児所位置を示す



現況 1階案内図 1:200 改修範囲外を示す

訂	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

FILE No.	工事名	旧ケアセンターおおつ棟	SCALE	A
	旧ケアセンターおおつ棟改修工事		1:800 (A1)	No.
			1:200 (A1)	4

内部仕上表

※ クロルピリホスを追加した材料は使用しない。
※ 居室の内装仕上材はF☆☆☆☆とする (建具、固定家具を含む)。
※ 非居室 (天井裏等) の仕上げ・下地材はF☆☆☆☆以上とする。
※ 国土交通省告示第1113、1114及び1115号で定められた建築材料は使用しないこと。
※ 内壁コーナー出隅部・建具枠、面台等端部は全てR (面取) 加工とし危険のない安全なものとする。
※ 防火上重要な間仕切り壁・耐火構造 (上階梁、スラブ裏まで達せしめること)

改修範囲外を示す

※改修範囲のみの仕上表を示す

Main table with columns for Room Name (室名), Modification (改修), Interior Limit (内装制限), Bed (床), Wall (壁), Ceiling (天井), and Remarks (備考). Rows include areas like 玄関ホール, EVホール, 廊下, ラウンジ, 事務室, 相談室, 談話コーナー, 保育室, 乳児室, 食堂A, 食堂, 看護中継所, 配膳室A, 厨房, and 荷受室.

()内は、消防法施行令による仕上制限

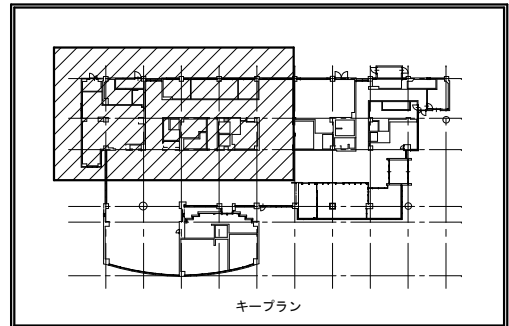
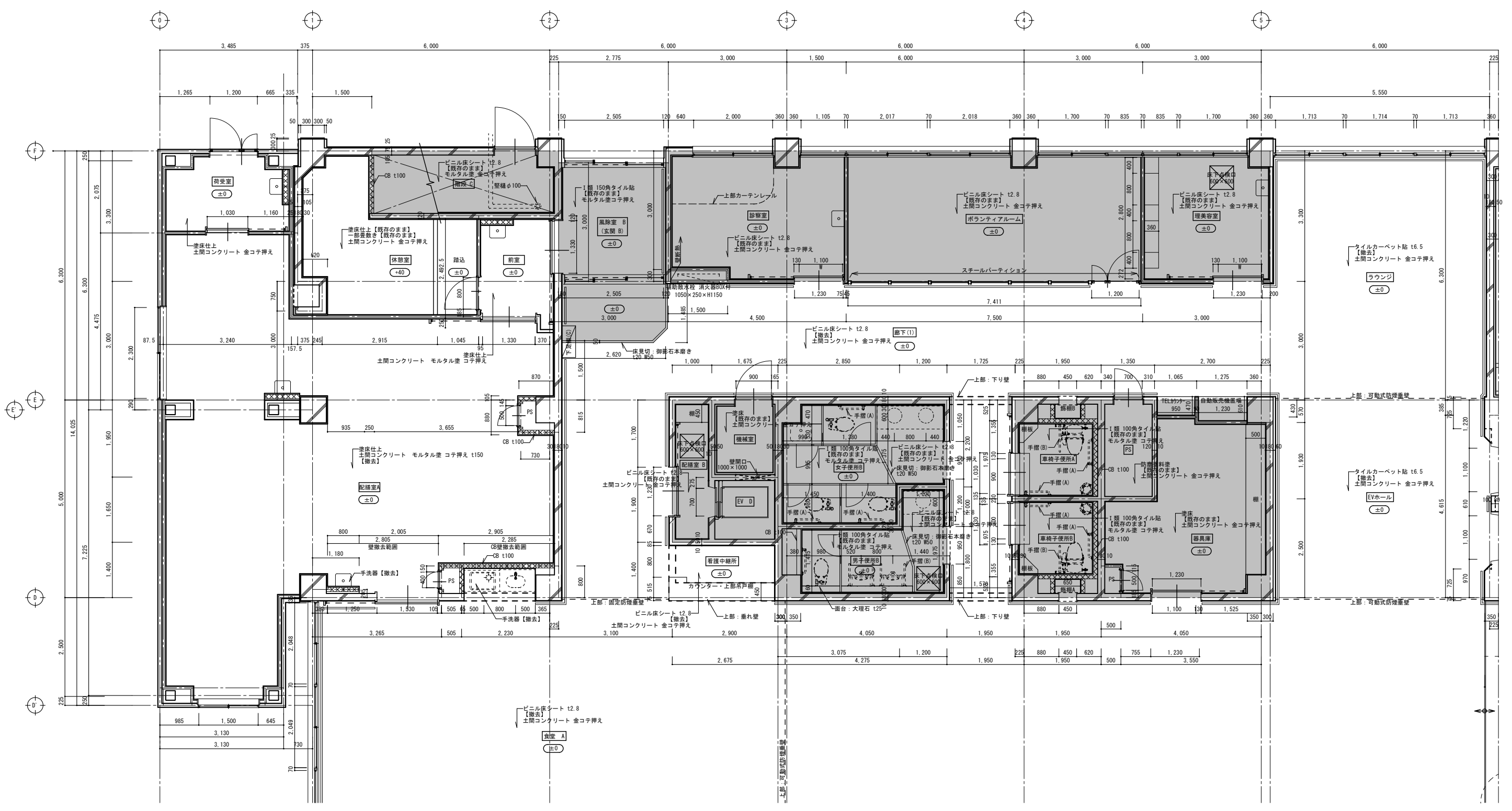
Table of specifications and standards. Columns include: 内装制限 (Interior Limitation), 凡例 (General Examples), 認定番号 (Certification Number), 認定番号 (Certification Number), and 認定番号 (Certification Number). It lists materials like concrete, wood, and stone with their respective codes and fire safety ratings.



現況 1階平面図 1:100 改修範囲外を示す



旧ケアセンターおおつ様	SCALE	A
現況 1階平面図	1:100 (A1)	No.
		6

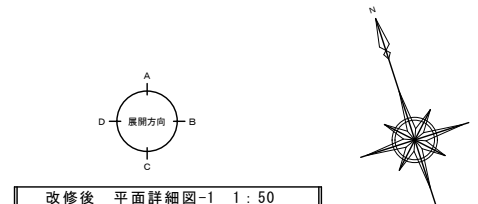
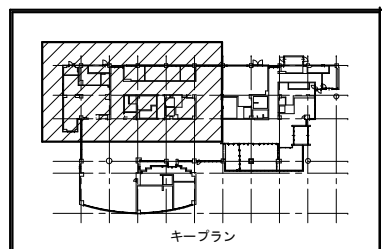
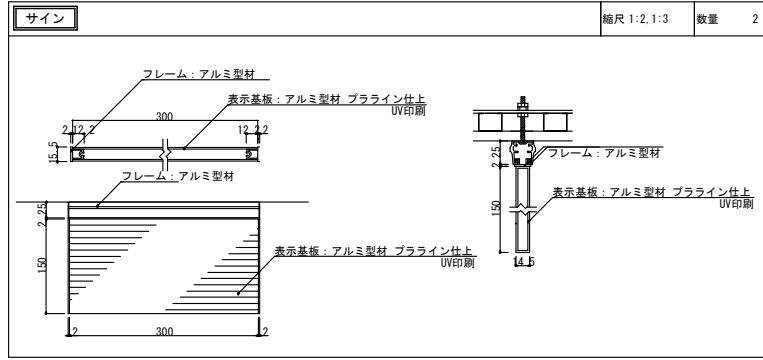
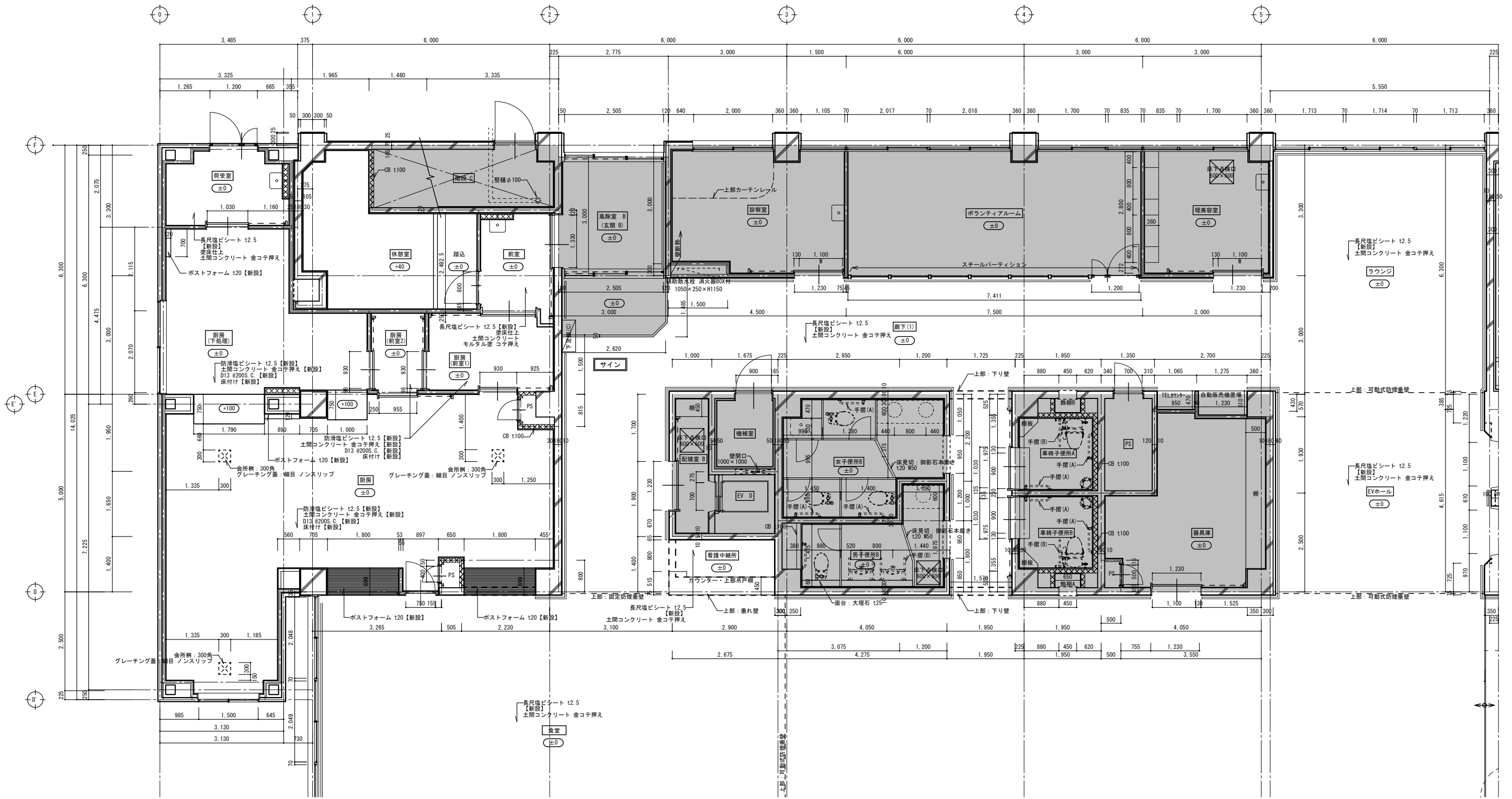


現況 平面詳細図-1 1:50

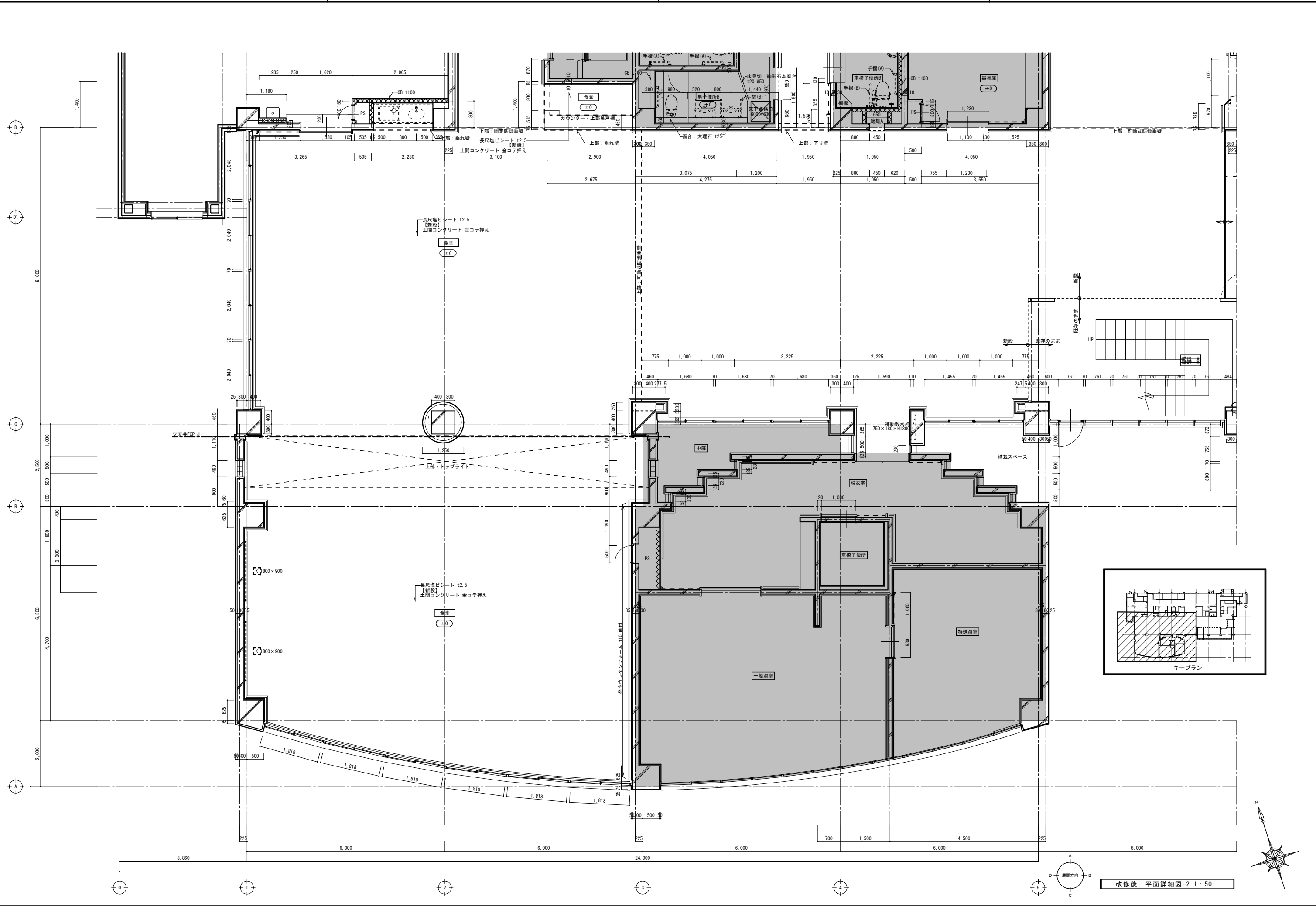
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

旧ケアセンターおおつ棟改修工事

旧ケアセンターおおつ棟	SCALE	A
現況 平面詳細図	1:50 (A1)	No.
		7



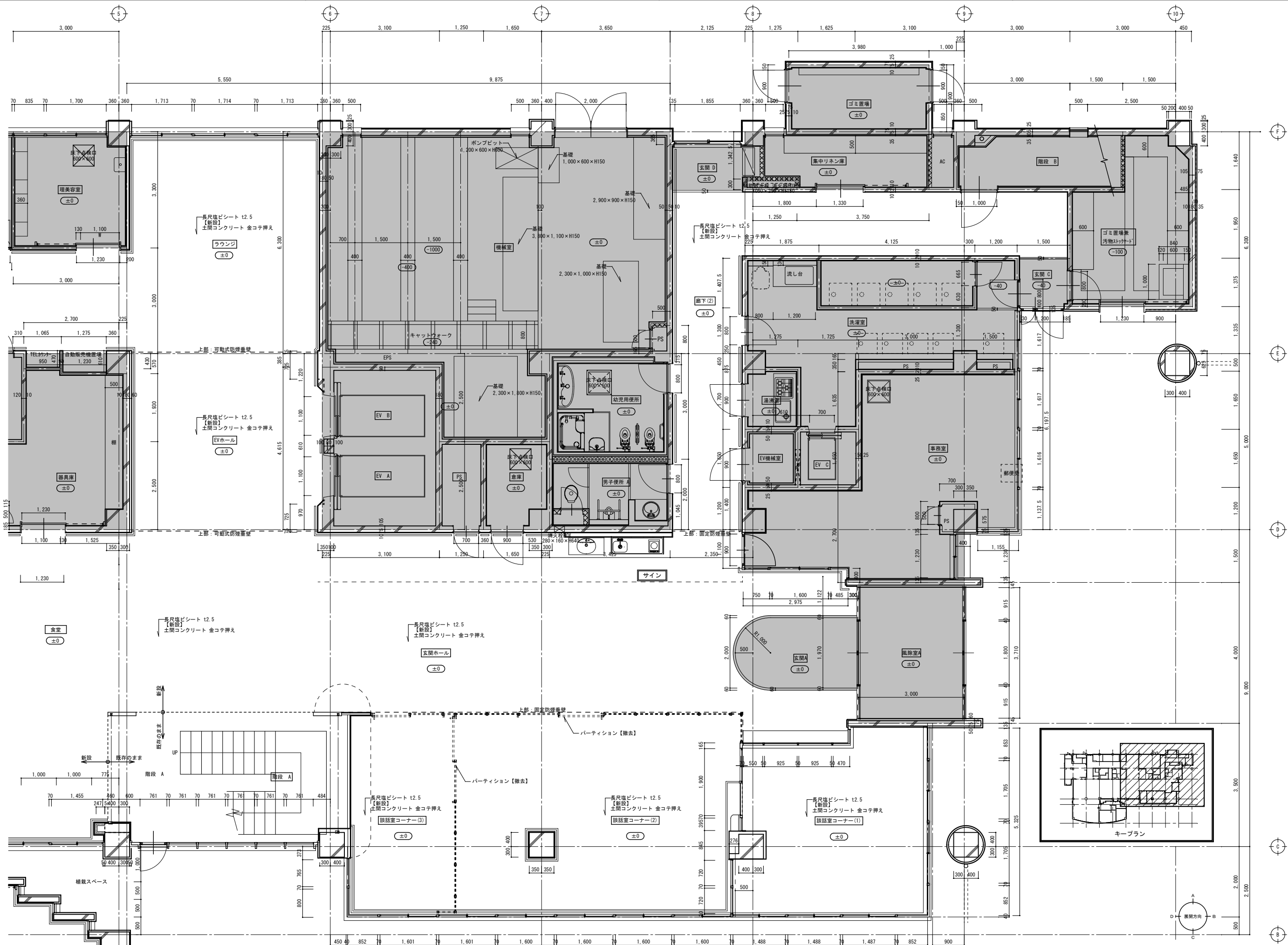
改修後 平面詳細図-1 1:50



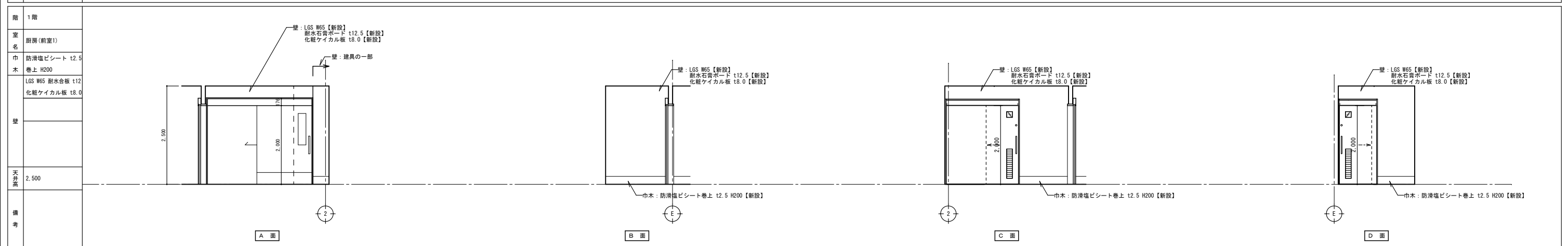
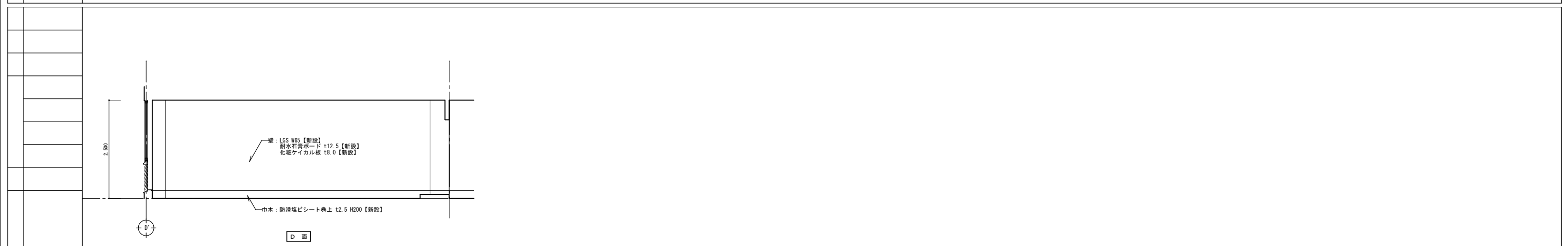
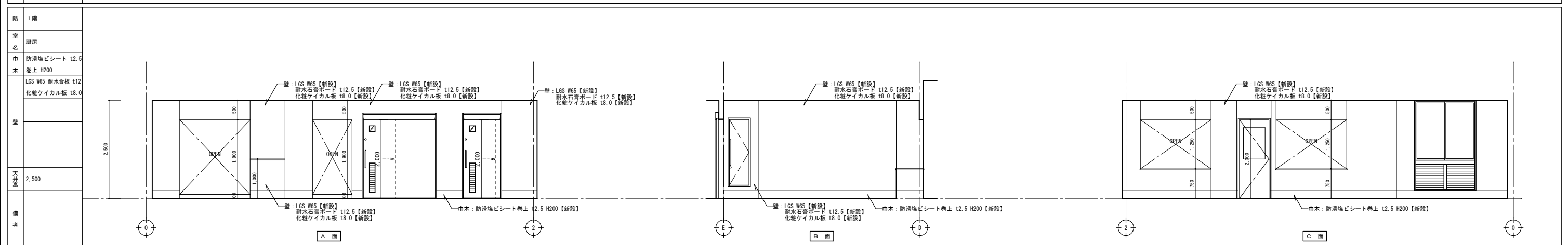
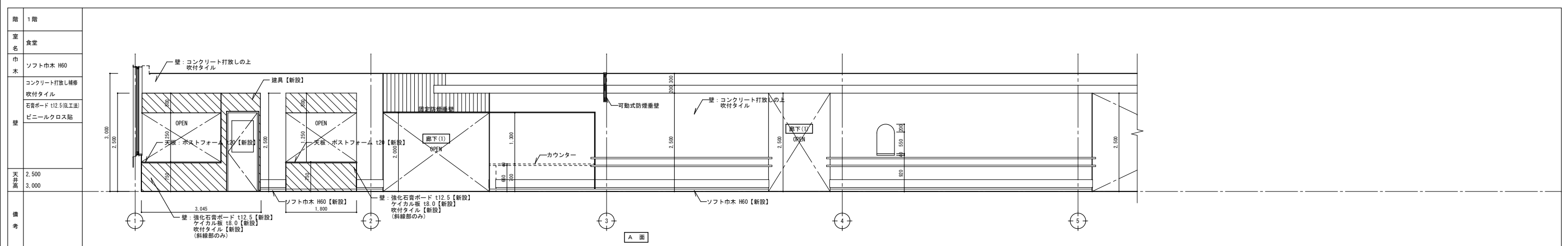
改修後 平面詳細図-2 1:50



<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	FILE No.	工事名 旧ケアセンターおおつ棟改修工事	旧ケアセンターおおつ棟 改修後 平面詳細図-2	SCALE 1:50 (A1)	No. 9
1	2	3	4	5											
1	2	3	4	5											



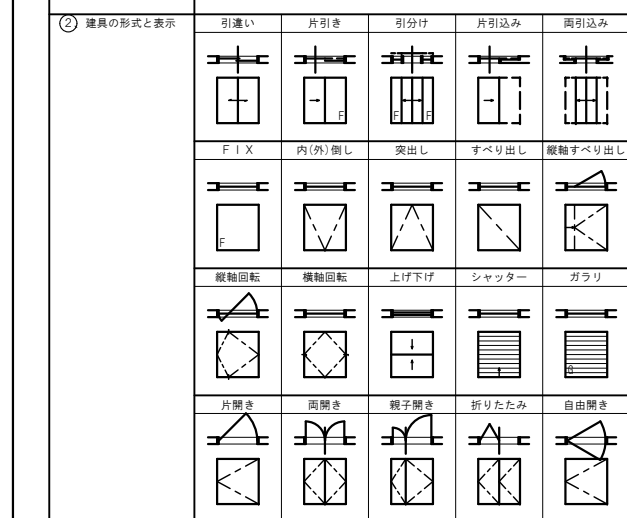
改修後 平面詳細図-3 1:50



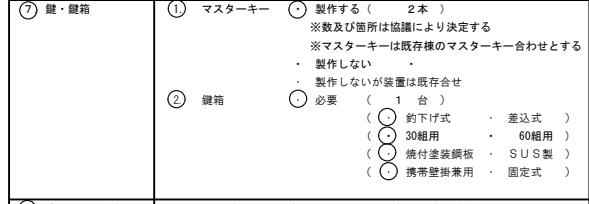
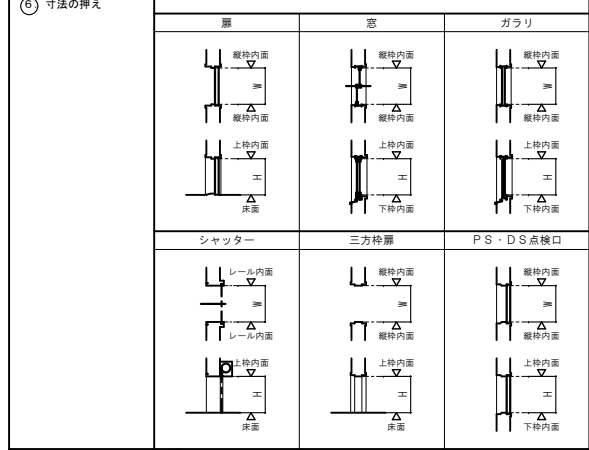
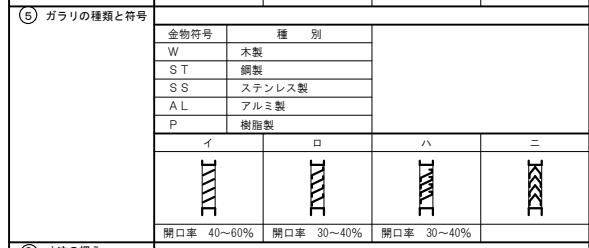
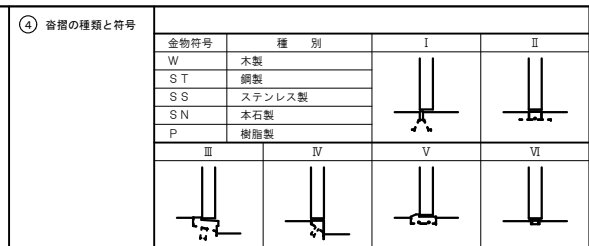
建具工事特記仕様書

① 範囲
本特記仕様書の範囲
本表は設計図に示す建具及び建具工事特記仕様（一般事項、特記事項、詳細図）を一括して表示する。戸建及びカウンター等その他これに付属する建具は別図詳細図によるものとし、本表には含まない。

② 項目
特記事項
AW アルミ製窓
AD アルミ製戸・扉
AWD アルミ製窓付戸・扉
AG アルミ製ガラリ
SW 鋼製窓
SD 鋼製戸・扉
SWD 鋼製窓付戸・扉
SG 鋼製ガラリ
STW ステンレス製窓
STD ステンレス製戸・扉
STWD ステンレス製窓付戸・扉
STG ステンレス製ガラリ
WW 木製窓
WD 木製戸・扉
WWD 木製窓付戸・扉
WG 木製ガラリ



③ ガラスの種類と符号
種別、ガラス符号、厚さ(ミリ)
フロート板ガラス、型板ガラス、すりガラス、網入り磨き板ガラス、網入り型板ガラス、熱線吸収網入り磨き板ガラス、熱線吸収網入り型板ガラス、熱線吸収フロート板ガラス、(高性能)熱線反射ガラス
複層ガラス
合せガラス
強化ガラス
視野選択ガラス
ガラスブロック



⑧ 建具に共通される主な性能の概要
性能項目、等級、適用する建具の種類
耐風圧性、気密性、水密性、遮音性、断熱性、面内変形追従性

① 一般事項
1. 建具寸法は概寸を示すものであり、詳細は製作図作成のうえ監督職員の承諾を得ること。
2. ガラスは指示ある現場にて多少変更することもある。
3. 外部建具の結露水は建具において排水可能な構造とすること。
4. 建具取り付け部のシーリング材料は特記仕様書の防水工事・シーリング材料によること。
5. ガラスの留め付け材の使用区分は下記によるものとする。

2. アルミニウム製建具
1. 適用範囲は建具製作所が通常製作している建具で、幅及び高さはその建具製作所が定めた製作範囲とし、カタログ等で特記の形状、断面寸法、金具仕様を指定されているものを対象とする。
2. 表面処理の種類は、横仕1・4・2・2における
・BB-2種
・C-1種
のうちの
※標準色(・ブラウン系・ブラック・ステンレスカラー)・特注色とする。
3. 外部に面する建具の性能等は特記なき場合
・A種
・B種
・C種
とする。

3. 鋼製建具
1. 適用範囲は事務庁舎の出入口に使用する標準的な建具で、片面又は両面を平らな鋼板張りとしたフラッシュ戸又はかまち戸を対象とする。
2. 断熱気密建具の気密性は(A-3)、水密性は(W-4)とする。
3. 鋼板の厚さは、横仕1・6・3・4(a)による。
4. 設備用吸排気用ガラリの有効開口率は()%とする。

4. 軽量鋼製建具
1. 適用範囲は屋内に用いる軽量の鋼製建具及び標準型鋼製軽量建具を対象とする。
2. 断熱気密建具の気密性の等級は(A-3)とする。
3. 表面仕上は、(○)化粧鋼板(t=0.5、t=0.8)
・ポリ合板
・シナベニヤ(塗装下地)
・ラワン(クロス下地)
とする。
4. 召し合わせ、縦小口包み板等の材質は
○鋼板
・ステンレス鋼板
・アルミニウム合金
とする。

5. ステンレス製建具
1. 適用範囲は、建築物に使用するステンレス製建具とする。
2. 断熱気密建具の気密性は(A-3)、水密性は(W-1)とする。
3. 材質は JIS G 4305 による SUS304 とする。
4. 表面仕上は、・HL仕上(ヘアライン仕上)
・No.8(鏡面仕上)
とする。

6. 自動ドア開閉装置
1. 適用範囲は建築物の出入口に使用する標準的なスライディング及びスイングタイプの自動ドア開閉装置を対象とする。
2. 駆動方式
・電気式
・空気圧式
・油圧式
3. センサ
・光線
・熱線
・音波
・タッチ
※補助センサの併用
4. 開閉方式
・引引(引分け)用
・開き戸用
・ワイドオープンドア用
・円形引戸用
・折れ戸用
・ガラス戸用
・回転扉用
5. 性能
※共通仕様による

7. 木製建具
1. 適用範囲は事務庁舎等での屋内の出入口に使用する木製建具を対象とする。
2. 建具種は木製または鋼製とし、その使用区分は建具リストによる。
3. フラッシュ戸に使用する合板は、水張り部(便所、洗面所、浴室、厨房等)では1類とし、その他の部位では2類とする。
4. 建具材の加工、組立時の含水率は
・A種(15%以下)
※B種(天然乾燥18%以下、人工乾燥15%以下)
・C種(18%以下)
とする。

8. 重量シャッター
1. 適用範囲は建築物に使用する重量シャッターに適用する。
2. 種別
・一般重量
・外壁用防火
・屋内用防火
・防煙
・グリル
3. ガイドレール
・埋込
・露出
・耐風
・防塵
4. 開閉形式
・手動式(チェーン)
・電動式
5. スラット
・スチール製
・ステンレス製
・アルミ製
スラット厚さ
耐風圧 (pa/m²)
・1.2mm
・1.6mm
最大面積 (m²)
・1.8mm
・2.3mm
グリル
・スチール製
・ステンレス製
・アルミ製

9. 軽量シャッター
1. 適用範囲は建築物に使用する軽量シャッターに適用する。
2. 開閉形式
・手動式(スプリング)
・電動式
3. 種別
・一般軽量
・軽量グリル
・排煙換気
4. スラット
・塗装済亜鉛メッキ鋼板
・ステンレス製
・アルミ製
スラット厚さ
耐風圧 (pa/m²)
・0.5mm
・0.8mm
最大面積 (m²)
・1.0mm
mm

10. オーバーヘッドドア
1. 適用範囲は建築物に使用する標準的なオーバーヘッドドアに適用する。
2. 材質
・カラー鋼板製
・カラーアルミ製
・FRP製
・ポリカーボネート製
3. ガイドレール
・亜鉛メッキ鋼板製
・ステンレス製
4. 開閉方式
・バランス式
・チェーン式
・電動式
5. 設計耐風圧 () pa/m²
製造所、品番等

11. トイレブース
1. 表面の仕上材
・ポリエステル樹脂化粧板
・メラミン化粧樹脂板
2. 芯材
・亜鉛メッキ鋼板積層板
・天然木繊維化粧合板
・パーティクルボード
3. パネル厚
・40mm
・30mm
4. エッジ仕上
・アルミ押出型材
・ステンレス
5. 脚金物
・ステンレス巾木
・T型サポート
6. 窓木
・アルミ押出型材
・ステンレス
製造所、品番等 同等以上

12. 可動間仕切り
1. 適用範囲は屋内に用いる間仕切りを対象とする。
2. 表面仕上
・化粧鋼板(t=0.5、t=0.8)
・ポリ合板
・シナベニヤ(塗装下地)
・ラワン(クロス下地)
3. 召し合わせ、縦小口包み板等の材質
・鋼板
・ステンレス鋼板
・アルミニウム合金
製造所、品番等

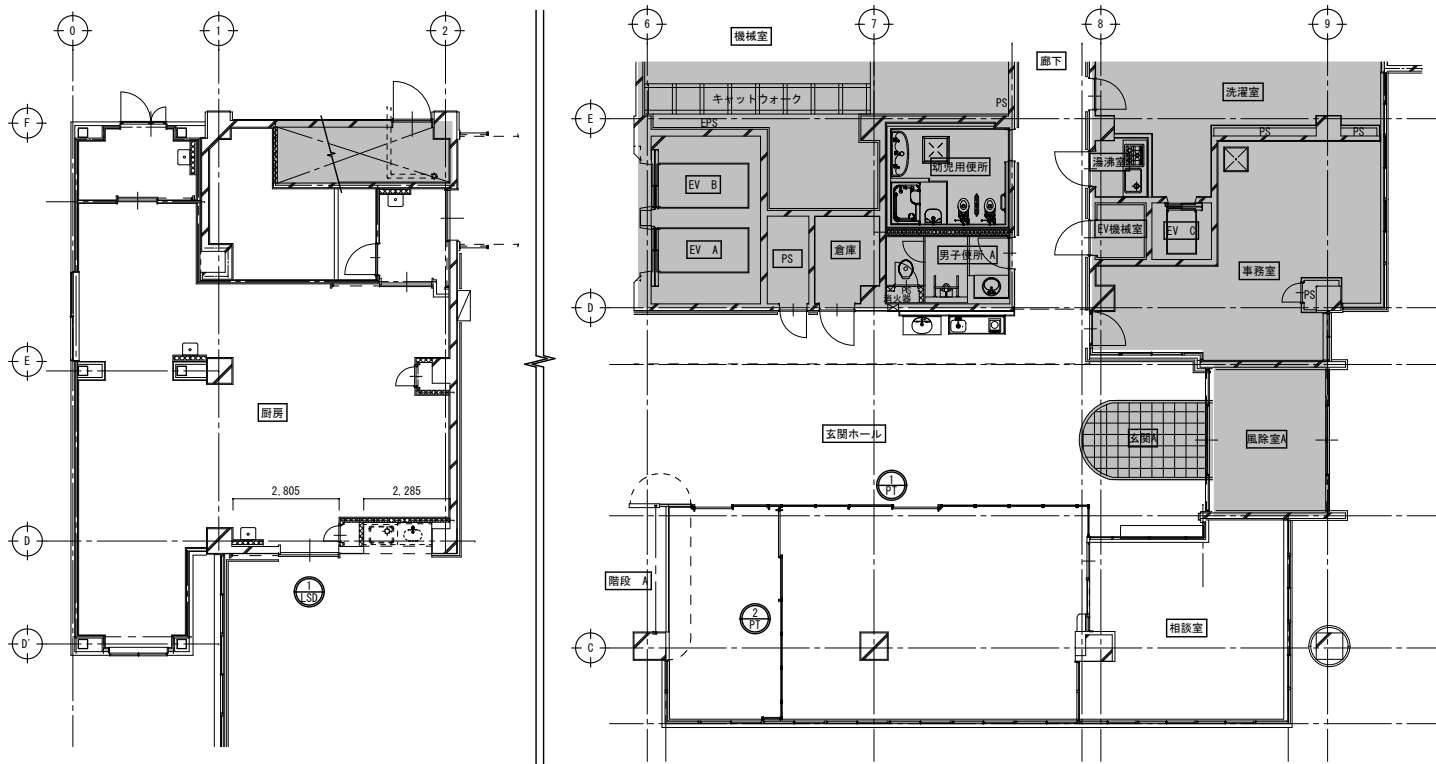
13. 自閉式上り引戸装置
1. 適用範囲は、標準的な戸に用いる手動開き式の自閉式上り引戸装置に適用する。
2. 屋外用自閉式
製造所、品番等
3. 屋内用自閉式
製造所、品番等

14. 縦軸滑り出し扉
1. 適用範囲は、標準的な戸に用いる手動開き式の自閉式上り引戸装置に適用する。
製造所、品番等

15. 建具金物一般事項
1. 建具用金物は特記を除き、標準仕様書に記載の材質・仕上とし、すべて見本品を提出のうえ、監督職員の承諾を得ること。
2. 特記のあるもの・指定の不明な金物は、外觀、性能、材質、取付け箇所等が建具に相応したものを用いること。
3. 既製またはこれに準ずる建具用金物のうち、性能上必要な最小限のものについては、特記がなければ建具製作所の仕様による。
4. ステンレス製建具用金物はJISのSUS304とする。
5. ドアクローザーは特記なき限りストッパ付とする。
6. 本種リモノロック錠は室内側サムターン付とする。
7. 特記なき限り延焼の恐れのある部分は総て防火設備以上とし、ガラリ等の開口部は防火ダンパー(シャッター)付とすること。
8. 警備保障のセンサー記録及び錠との連動がある場合は専門業者と十分な協議をしたうえ、製作を行うこと。
9. 排煙用オペレーター装置及び建具引手の取付け高さは操作位置の床面より1500mm以下とする。
また、排煙装置は特記なき限りワンタッチ式の操作方法とする。
10. 両開き扉、親子開き扉の常時開放型(特記)防火設備には、閉鎖位置調整器および召し合わせ部分にスプリング入りステンレス曲面目板付とする。
11. 戸さきゴム(指はきみ防止)を設けること

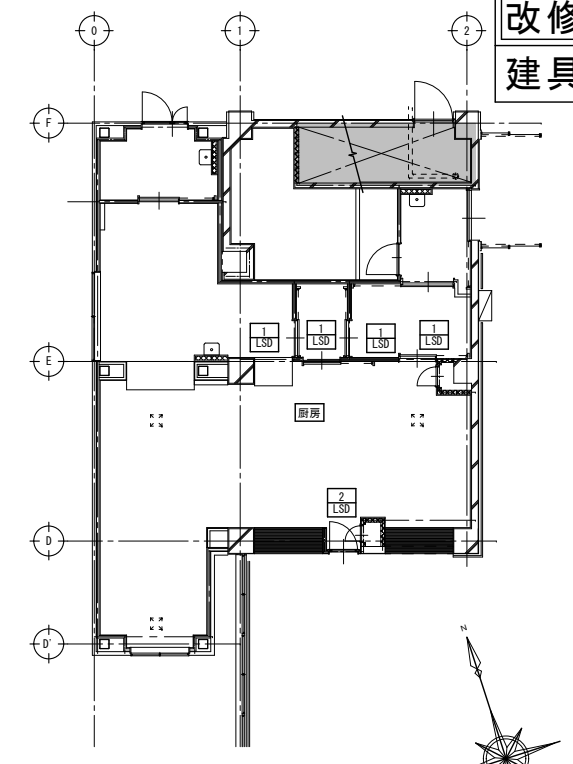
16. ガラス
1. 網(線)入りガラスの下辺及び縦辺の下方は、防錆用テープまたはガラス用防錆塗料等で処理をすること。

現況
建具図



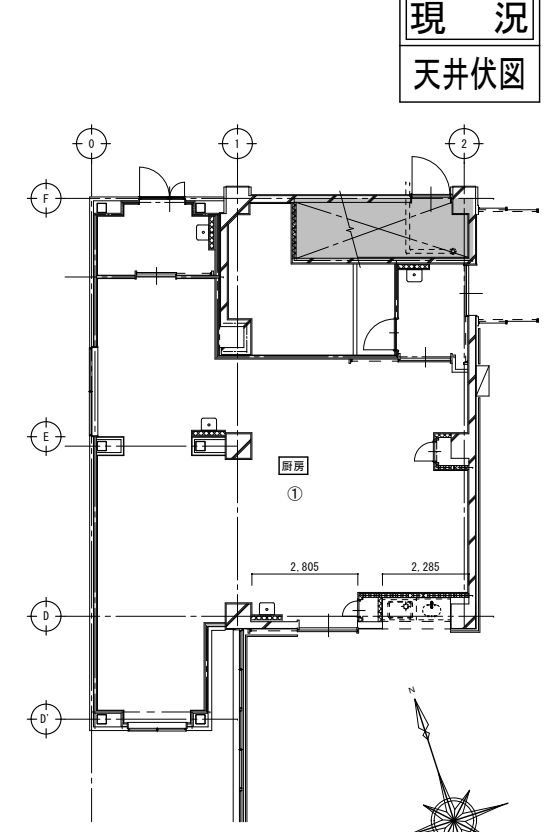
現況 建具配置図 1:100 改修範囲外を示す

改修後
建具図



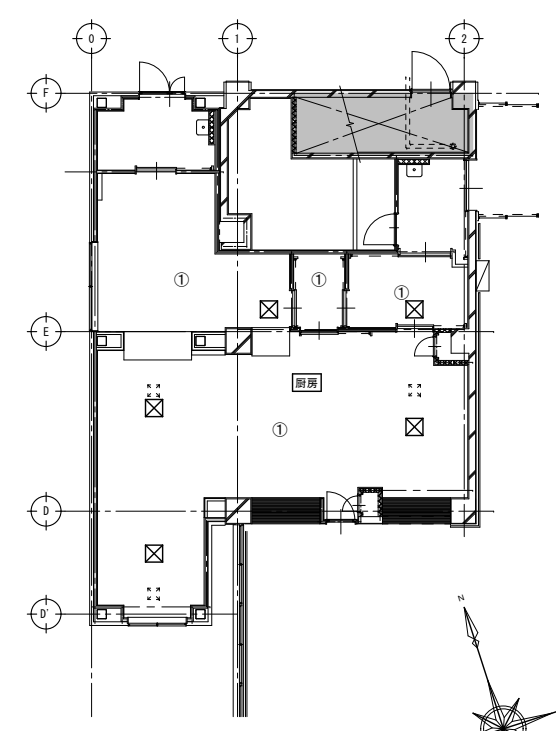
改修後 建具配置図 1:100 改修範囲外を示す

現況
天井伏図



現況 天井伏図 1:100
①: ケイカル板 t6.0 VP塗【撤去】
改修範囲外を示す

改修後
天井伏図



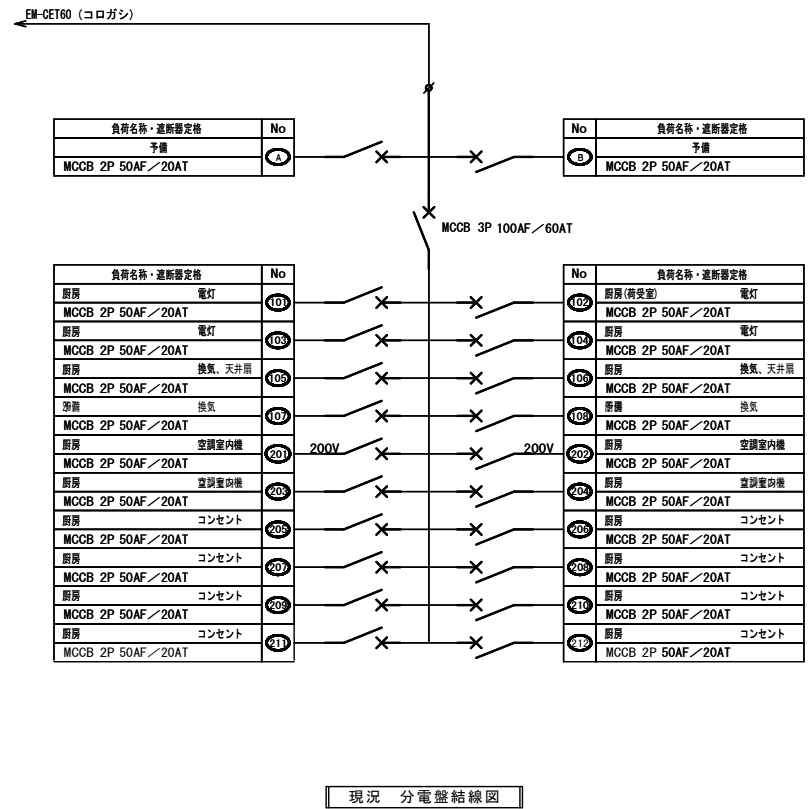
改修後 天井伏図 1:100
①: ケイカル板 t6.0 EP塗【新設】
☒: 天井点検口 450角【新設】
改修範囲外を示す

符号・名称	① LSD 軽量スチール製 片引き戸【撤去】	① PT アルミ製 パーティション【撤去】
装図		
室名	食堂A	玄関ホール
数量	1	1
仕上	亜鉛メッキ鋼板	亜鉛メッキ鋼板
塗装	焼付塗装	焼付塗装
金物	標準附属品	標準附属品
硝子	型板ガラス t4.0	強化型板ガラス t4.0 強化透明ガラス t5.0
見込	100	50
音摺		傾斜自閉式扉
ガラリ		
備考		
符号・名称		② PT アルミ製 パーティション【撤去】
装図		
室名		乳児室
数量		1
仕上		亜鉛メッキ鋼板
塗装		焼付塗装
金物		標準附属品
硝子		強化型板ガラス t4.0 強化透明ガラス t5.0
見込		50
音摺		傾斜自閉式扉
ガラリ		
備考		

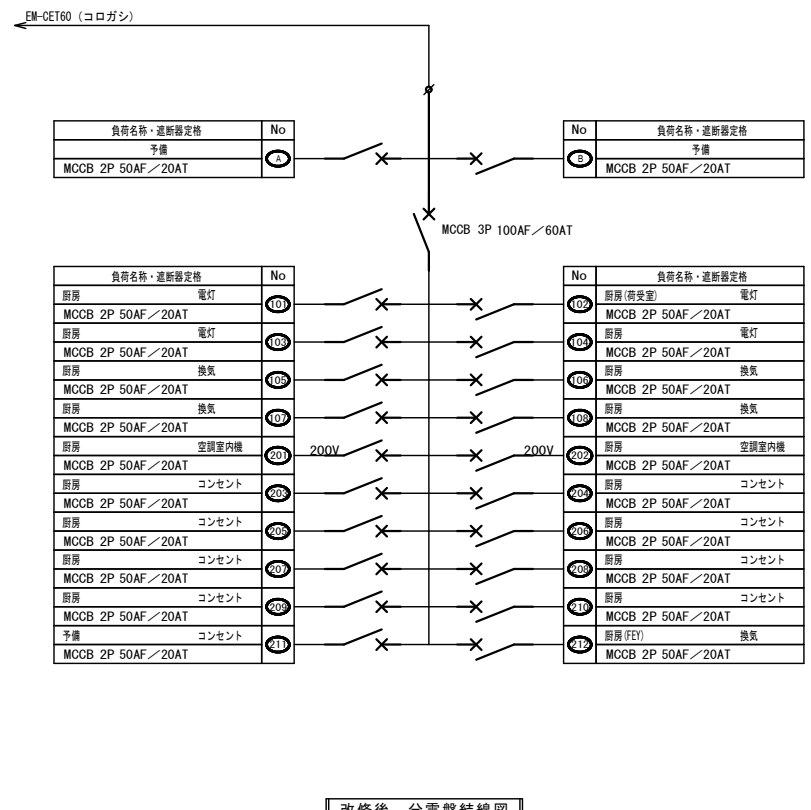
符号・名称	① LSD 軽量スチール製 片引き戸【新設】
装図	
室名	厨房
数量	4
仕上	—
塗装	焼付塗装
金物	自閉式上吊引戸装置、引輪、レール、表示鍵錠、戸当り、防振ローラー、異常開錠、スチール製三方栓、付属金物一式
硝子	FL t4.0
見込	150
音摺	ガラリ
ガラリ	SS-II
備考	
符号・名称	② LSD 軽量スチール製 片開き扉【新設】
装図	
室名	厨房
数量	1
仕上	—
塗装	焼付塗装
金物	センジ、レバーハンドル錠(開閉側のみ)、ドアクローザー、戸当り
硝子	F t4.0
見込	150
音摺	ガラリ
ガラリ	SS-II
備考	

拡 声 設 備	● 工事範囲 ○ 施工方法 ○ 増幅器	○ 配管 ○ 配線 ● 機器取付 ○ 撤去 ○ 調整 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ モール配線 ○ 架空配線 ○ 非常用 ○ 一般用 ○ AV用 形式 ○ 卓上 ○ キャビネット形 定格出力 W以上 付加機能 ○ リモコン機能 ○ コールサイン機能 ○ モニタ機能 組込みのラジオ受信部 (○ AM ○ FM) ○ 壁掛型 ○ 壁掛埋込型 ○ 天井直付型 ○ 天井埋込型 ○ ホーン型 ○ ○ 機器取付参照 ○ 機器リスト参照 ○ 凡例参照 ○ 鋼板製 ○ SUS製 ○ S U S製 ○ 自立型 ○ 壁掛型 ○ 埋込型 ○ 既製品 ○ 単品製作品 ※ 各機器及び端子盤は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。
	○ スピーカ ○ 端子盤 ○ 製作図 ○ その他	
電 気 時 計 設 備	○ 工事範囲 ○ 施工方法 ○ 時計 ○ 子時計 ○ 機器 ○ 製作図 ○ その他	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去 ○ 調整 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ モール配線 ○ 架空配線 ○ 水晶式 ○ プログラムタイマ組込 ○ カード式 ○ パソコン入力式 ○ 電波修正機能 ○ 壁掛型 ○ プラケット型 ○ 吊下げ型 ○ 機器取付参照 ○ 機器リスト参照 ○ 凡例参照 ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。
	○ 製作図 ○ その他	
イ ン タ ー ホ ン 設 備	○ 工事範囲 ○ 施工方法 ○ 通話方式 ○ 機器 ○ 製作図 ○ その他	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去 ○ 調整 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ モール配線 ○ 架空配線 ○ 親子 (※ 電話形同時通話式 ○ 電話スピーカー形同時通話式) ○ テレビドアホン ○ 相互式 (※ 電話形同時通話式 ○ 電話スピーカー形同時通話式) ○ 複合式 (※ 電話形同時通話式 ○ 電話スピーカー形同時通話式) ○ 機器取付参照 ○ 機器リスト参照 ○ 凡例参照 ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。
	○ 製作図 ○ その他	
ト イ レ 呼 出 設 備	○ 工事範囲 ○ 施工方法 ○ トイレ呼出表示器 ○ 機器 ○ 製作図 ○ その他	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去 ○ 調整 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ モール配線 ○ 架空配線 ○ 窓数 () ○ インターホン付 ○ 機器取付参照 ○ 機器リスト参照 ○ 凡例参照 ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。
	○ 製作図 ○ その他	
テ レ ビ 共 同 受 信 設 備	○ 工事範囲 ○ 施工方法 ○ アンテナ ○ アンテナマスト ○ 電界強度 ○ 製作図 ○ その他	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去 ○ 調整 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ モール配線 ○ 架空配線 ○ UHF用 ○ BS用 ○ CS用 ○ 自立型 ○ 壁面取付形 アンテナマスト及びその支持材 (3点支持) などは、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 施工前と躯体立ち上がり後に、アンテナ取付予定位置及び建物による障害予想地域の電界強度を測定し、記録を速やかに提出すること。(2部提出) ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。
	○ 製作図 ○ その他	
電 話 ・ 電 話 用 配 管 設 備	○ 工事範囲 ○ 施工方法 ○ 交換機 ○ 電話機 ○ 保安器盤 ○ 機器 ○ 製作図 ○ その他	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去 ○ 調整 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ モール配線 ○ 架空配線 ○ 形式 () ○ 電話機 台 (内 ○ 停電補償電話機 台 ○ コードレス電話機 台) ○ ナンバーディスプレイ ○ 鋼板製 ○ SUS製 ○ 既製品 ○ 単品製作品 ○ 自立型 ○ 壁掛型 ○ 埋込型 ○ 機器取付参照 ○ 機器リスト参照 ○ 凡例参照 ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。
	○ 製作図 ○ その他	
情 報 ・ 情 報 用 配 管 設 備	○ 工事範囲 ○ 施工方法 ○ 情報受口 ○ 情報機器 ○ 情報機器盤 ○ 製作図 ○ その他	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去 ○ 調整 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ モール配線 ○ 架空配線 ○ ローテーション ○ ノズルプレート ○ モジュラージャック (8局8芯) 付 ○ 本工事 ○ 別途工事 ○ 鋼板製 ○ SUS製 ○ ○ 自立型 ○ 壁掛型 ○ 埋込型 ○ 既製品 ○ 単品製作品 ※ 各機器及び情報機器盤は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。
	○ 製作図 ○ その他	
火 災 報 知 設 備	● 工事範囲 ● 施工方法 ● 受信機 ○ 消火ポンプの起動 ○ 機器 ○ 製作図 ○ 移報回路 ○ その他	● 配管 ● 配線 ● 機器取付 ● 撤去 ○ 調整 ○ 金属管配線 ● ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ モール配線 ○ 架空配線 型 線 回線 (防火戸 回線 一般警報 回線) ● 壁掛形 ○ 自立形 ○ 複合形 ※ 消火栓ボックス内押ボタン ○ 機器取付参照 ○ 機器リスト参照 ○ 凡例参照 ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 ○ 非常放送 ○ 昇降機 ○ 機械警備 ○ 誘導灯信号装置 ● 警戒区域の ※ 作成 ● 変更
	○ 製作図 ○ 移報回路 ○ その他	

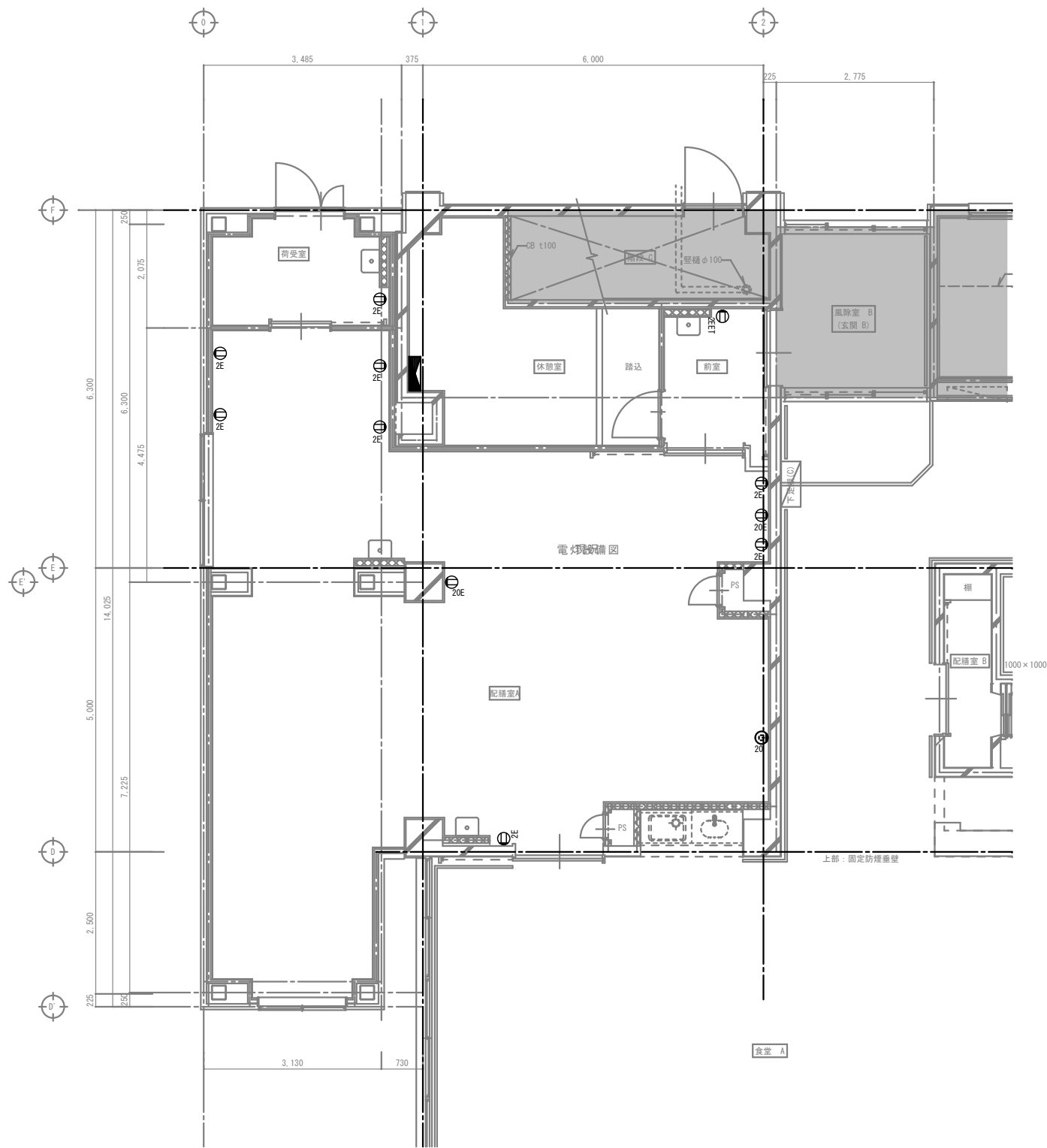
Ⅲ 使用機材等指定表				
機材名	製造業者名			
電線管・付属品	JIS規格品			
ケーブル・ケーブル	積水化学工業	摂陽工業	日動電工	ネグロス電工
電線・ケーブル	JIS又はJCS規格品			
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定業務委員会の認定を受けている旨の表示 (JCSMA) をしたもの			
配線器具類	神保電器	星和電機	寺田電機製作所	東芝ライテック
照明器具	因幡電機製作所	岩崎電気	遠藤照明	大光電機
配分電盤類	京都精工電機	草川電機製作所	新岩村電機製作所	大正電機製造
既製分電盤類	河村電器産業	草川電機製作所	大正電機製造	東芝ライテック
配線用遮断器	寺崎電気産業	東芝ライテック	パナソニック	日立産機システム
放送機器	JVCケンウッド	T O A	東芝ライテック	日本無線
インターホン機器	アイホン	N I C	ケアコム	東芝ライテック
テレビ共聴機器	D Xアンテナ	日本アンテナ	パナソニック	HISQがコパナビ
コンクリート柱	大日コナ工業	日本コナ工業	日本コナ工業	三谷セキサン
鋼管柱	日産住金建材	日本コナ工業	パナソニック	丸一鋼管
ハンドホール	アコナ工業	ケイコン	光栄	コーワ
同上鉄蓋	カネソウ	福西鋳物	北勢工業	立基
防災機器	ニッタン	日本トウケイ	日本フェニール	能美防災
表示器	アイホン	シチズンTIC	ゼロワンオカダ	パナソニック
電話機・交換機	N T T	沖電気工業	日本電気	パナソニック
視聴覚機器	JVCケンウッド	ソニー	T O A	東芝ライテック
高圧電磁接触器	東芝	日立産機システム	富士電機機器制御	三菱電機
高圧気中開閉器	エフ・サ・ト	大垣電機	戸上電機製作所	日本高圧電気
高圧遮断器	東芝	日立産機システム	富士電機機器制御	三菱電機
変圧器	ダイヘン	東芝	日立産機システム	富士電機
コンデンサリアクトル	指月電機製作所	東芝	ニチコン	日新電機



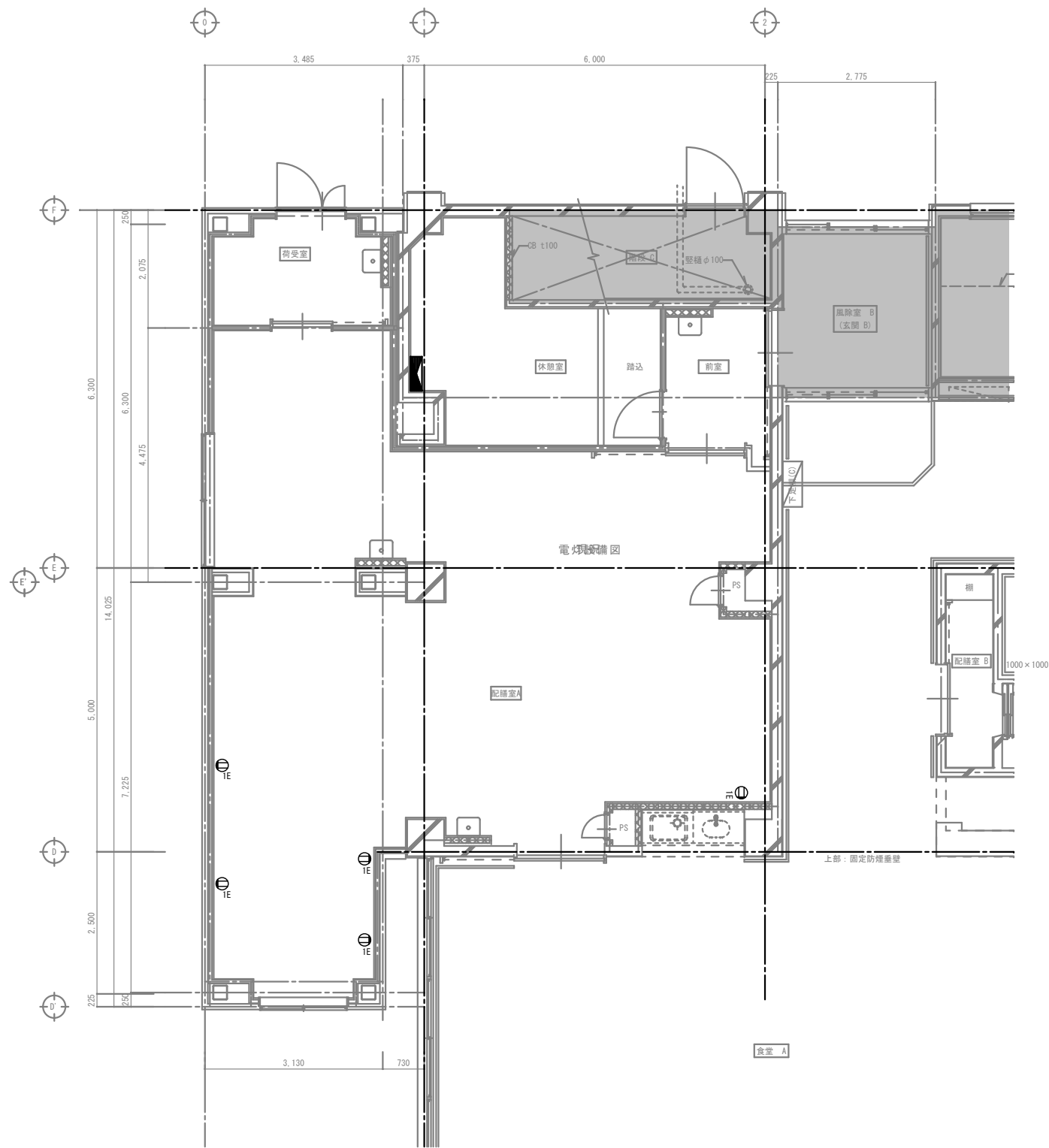
現況 分電盤結線図



改修後 分電盤結線図



現況
コンセント設備平面詳細図



現況
コンセント設備平面詳細図(換気用)

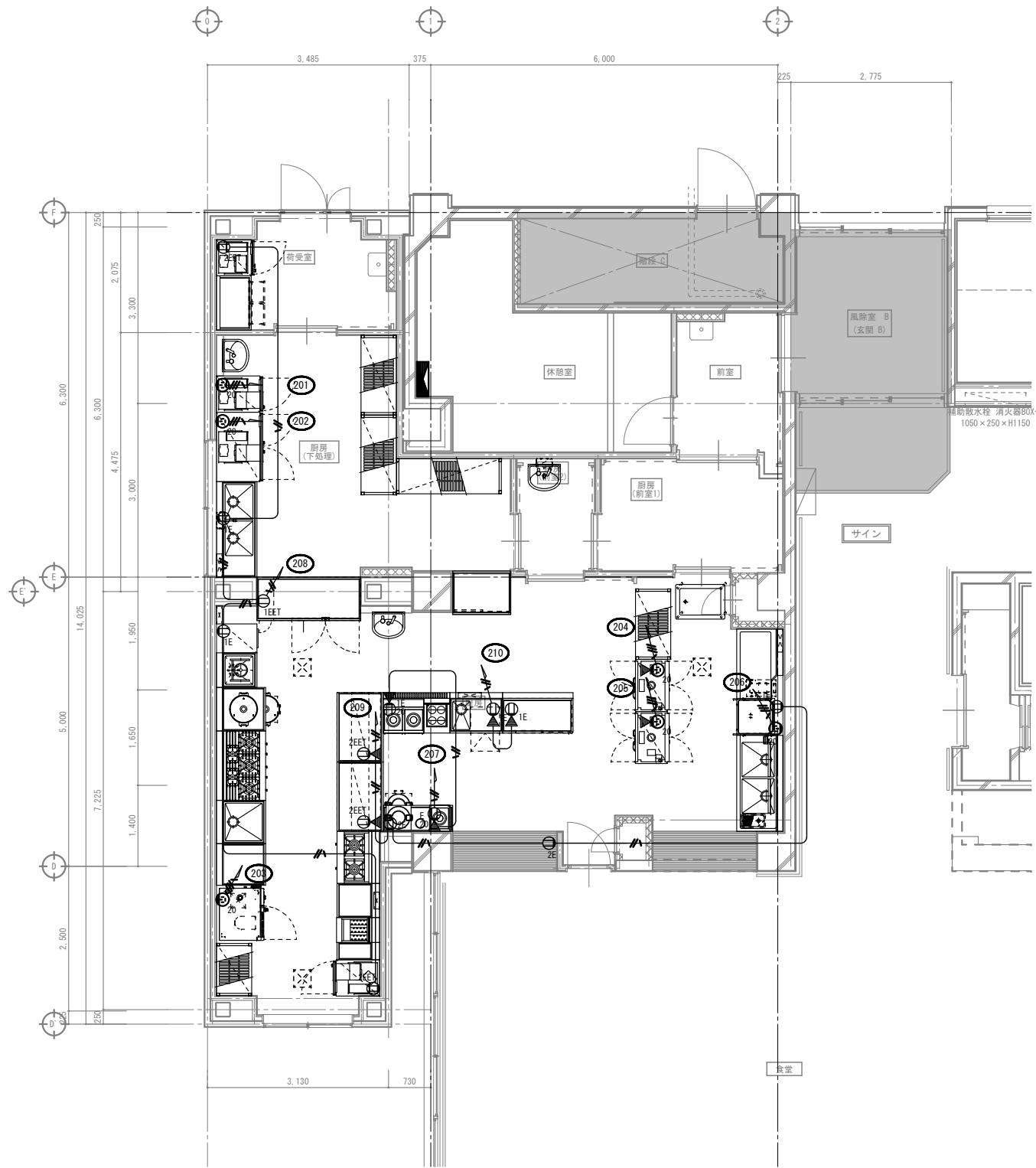
凡例	
コンセント設備	
①E	埋込コンセント 2P1E15A x 1 接地極付
①EET	埋込コンセント 2P1E15A x 1 接地極接地端子付
②E	埋込コンセント 2P1E15A x 2 接地極付
②EET	埋込コンセント 2P1E15A x 2 接地極接地端子付
②OE	防水コンセント 2P1E15A x 2 200V
③20	埋込コンセント 3P1E20A x 1 200V
Ⓜ	床埋込コンセント

特記無き配管・配線は下記による。	
	EM-EFF1.6-2C (PF16)
	EM-EFF2.0-3C (PF22)
	EM-CE 3.5SQ-4C (PF22)

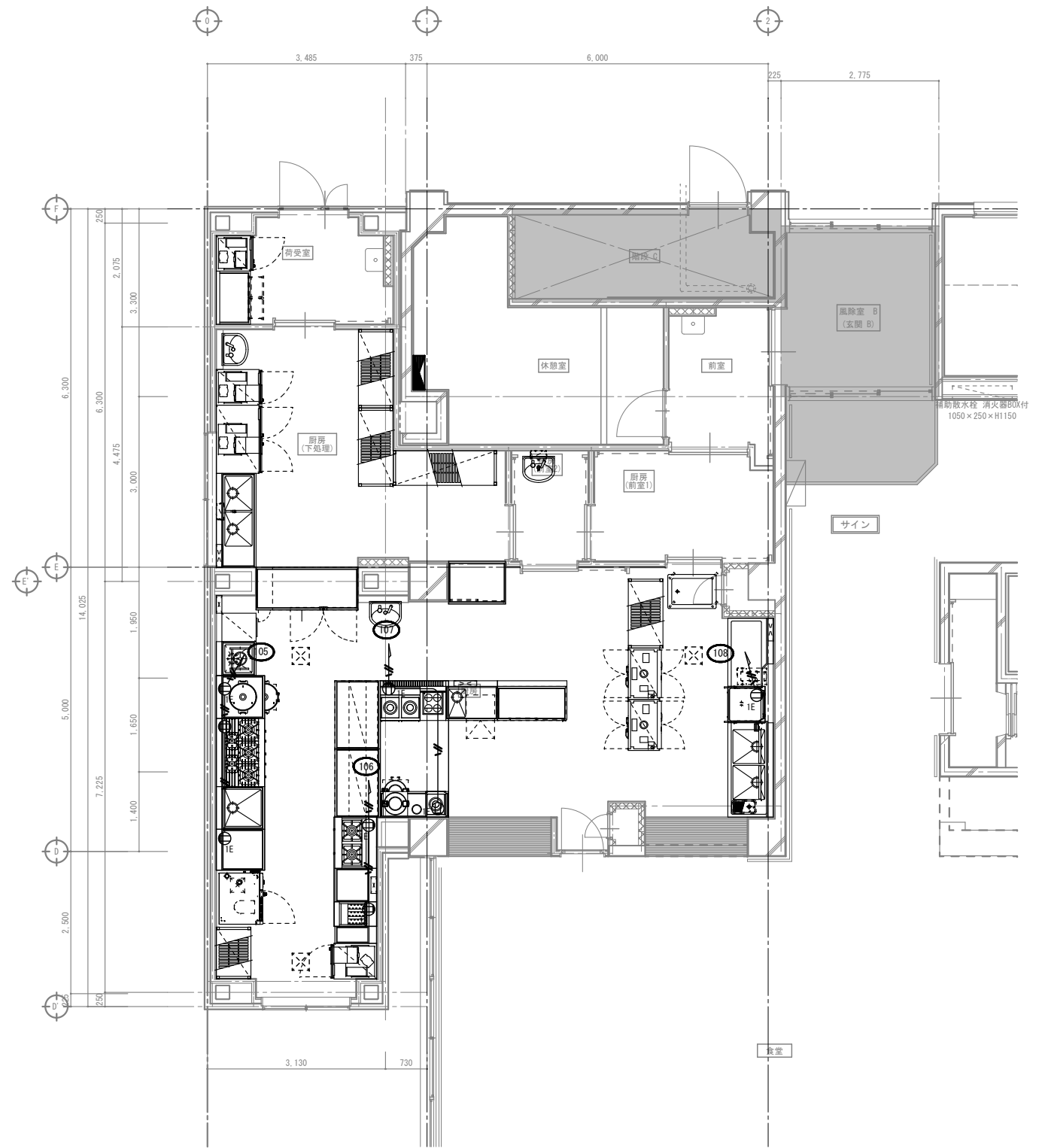
P F 配管は壁面、及び主間のみとし、2重天井内はこころがし配線とする。

IT
II

FILE No.	工事名	旧ケアセンターおおつ棟改修工事	旧ケアセンターおおつ棟	SCALE	1:50 (A1)	E
			現況			No.
			コンセント設備平面詳細図			3



改修後
コンセント設備平面詳細図



改修後
コンセント設備平面詳細図(換気用)

凡例

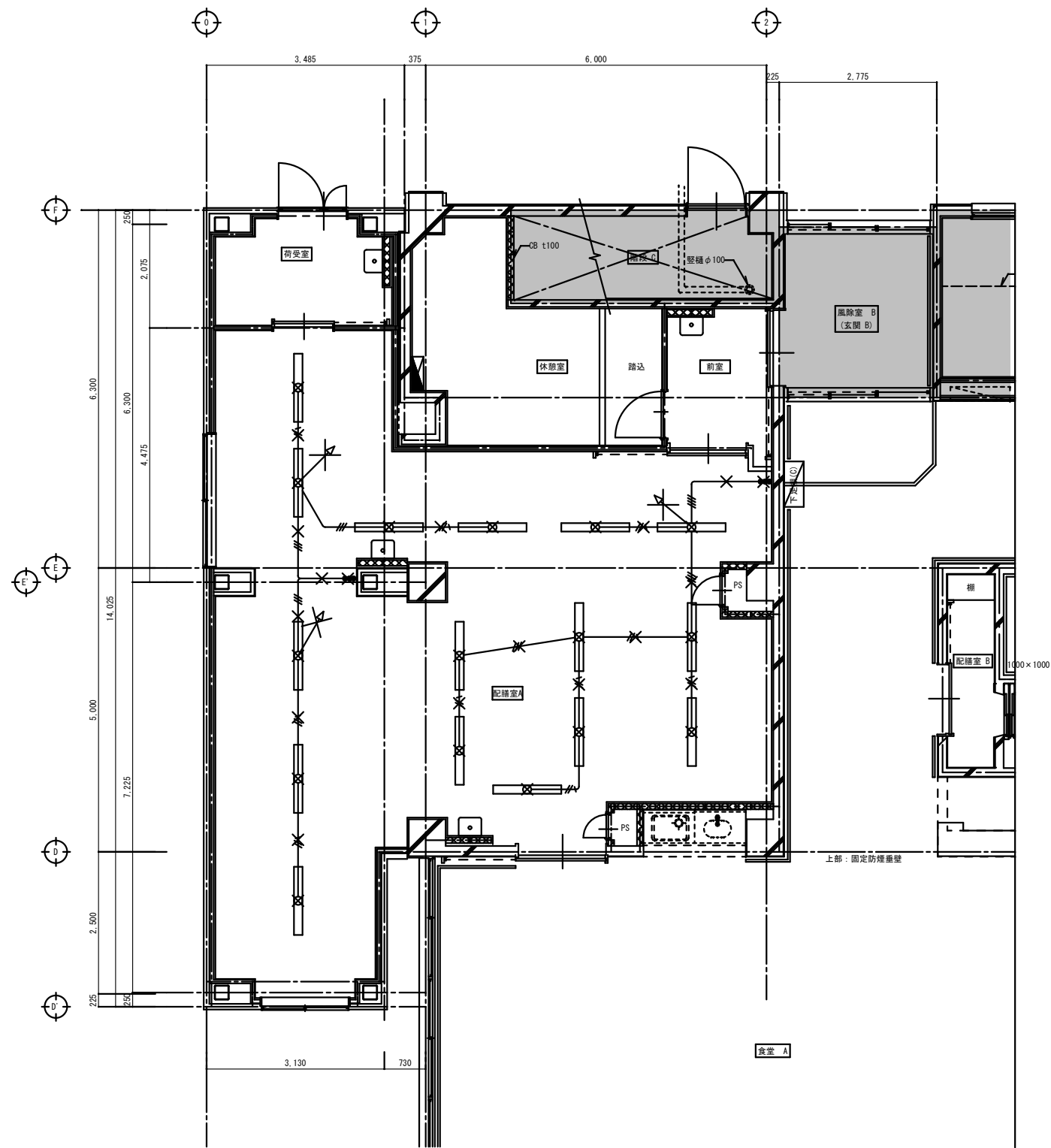
コンセント設備	
①E	埋込コンセント 2P1E15A x 1 接地極付
①EET	埋込コンセント 2P1E15A x 1 接地極接地端子付
②E	埋込コンセント 2P1E15A x 2 接地極付
②EET	埋込コンセント 2P1E15A x 2 接地極接地端子付
②0E	防水コンセント 2P1E15A x 2 200V
②0	埋込コンセント 3P1E20A x 1 200V
⓪	床埋込コンセント

特記無き配管・配線は下記による。

—	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
—	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
—	EM-CE 3.5SQ-4C	(PF22)

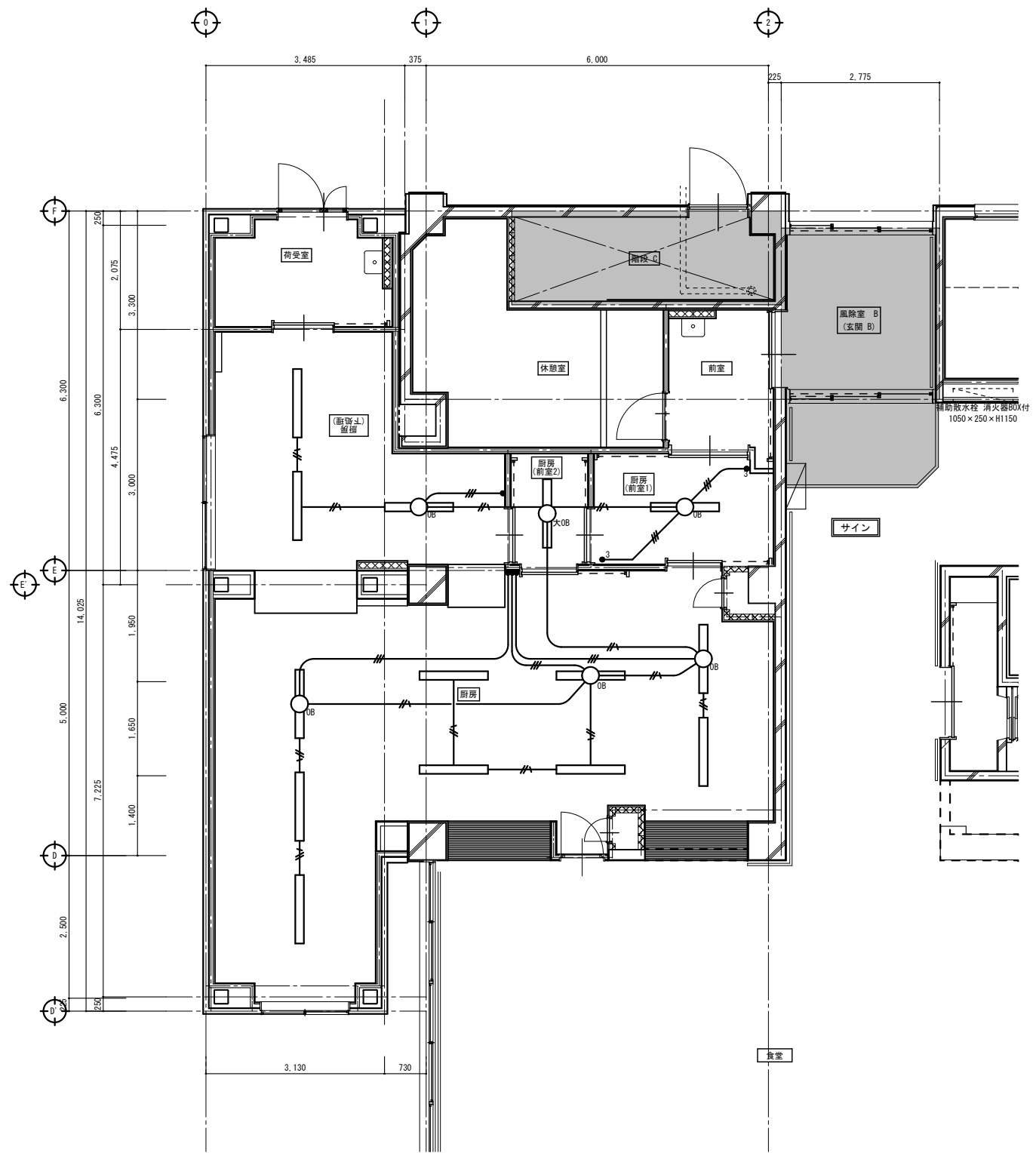
P F 配管は壁面、及び主間のみとし、2重天井内はこがし配線とする。





現況
電灯設備図

凡例	
●	スイッチ
○	照明器具 直付 FL40W-2 (防水仕様) 時取外し
特記無き配管・配線は下記による。	
—	EM-EEF1.6-3C (PF22)
—	EM-EEF1.6-3C (PF22)
—	EM-EEF1.6-2C x 2 (PF22)
図中Xは撤去を示す	




改修後
電灯設備図

凡例	
●	片切スイッチ
●	3路スイッチ
□	アウトレットボックス VE製 四角中深
□	アウトレットボックス VE製 四角大深

特記無き配管・配線は下記による。		
—	EM-EEF1.6-3C (PF22)	PF配管は壁面のみとし、2重天井内はこしがし配線とする。
—	EM-EEF1.6-3C (PF22)	

1-32.5
14ヶ所

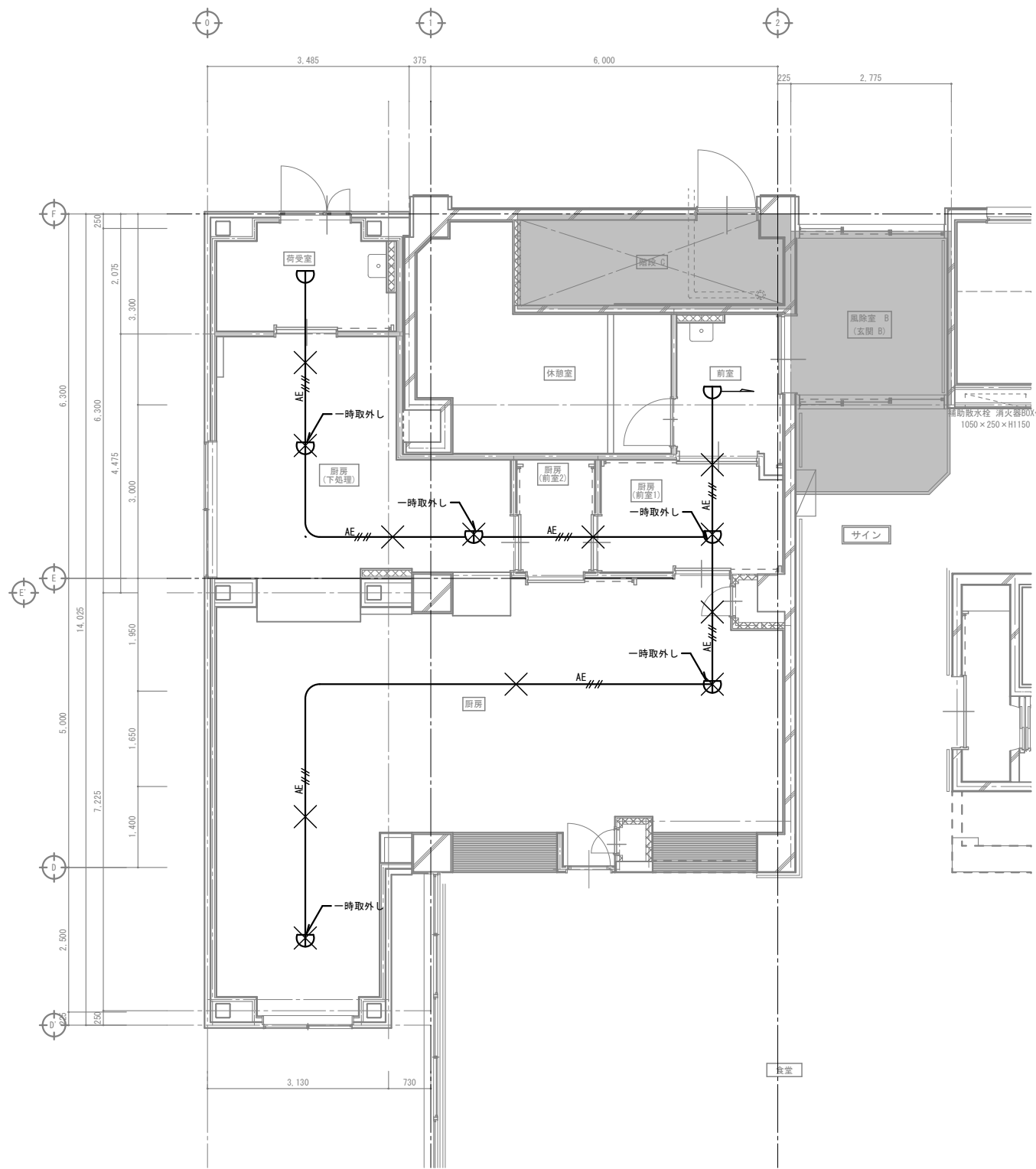
直付形40形 防湿型・防雨型 W150
一般タイプ、5200lmタイプ、消費電力：32.5W



定格出力型、電圧100~242V
本体：ステンレス
防湿型・防雨型タイプ（ポリカーボネート（乳白）
光源寿命：4000時間
昼白色（5000K）
Ra83、IP23防湿型

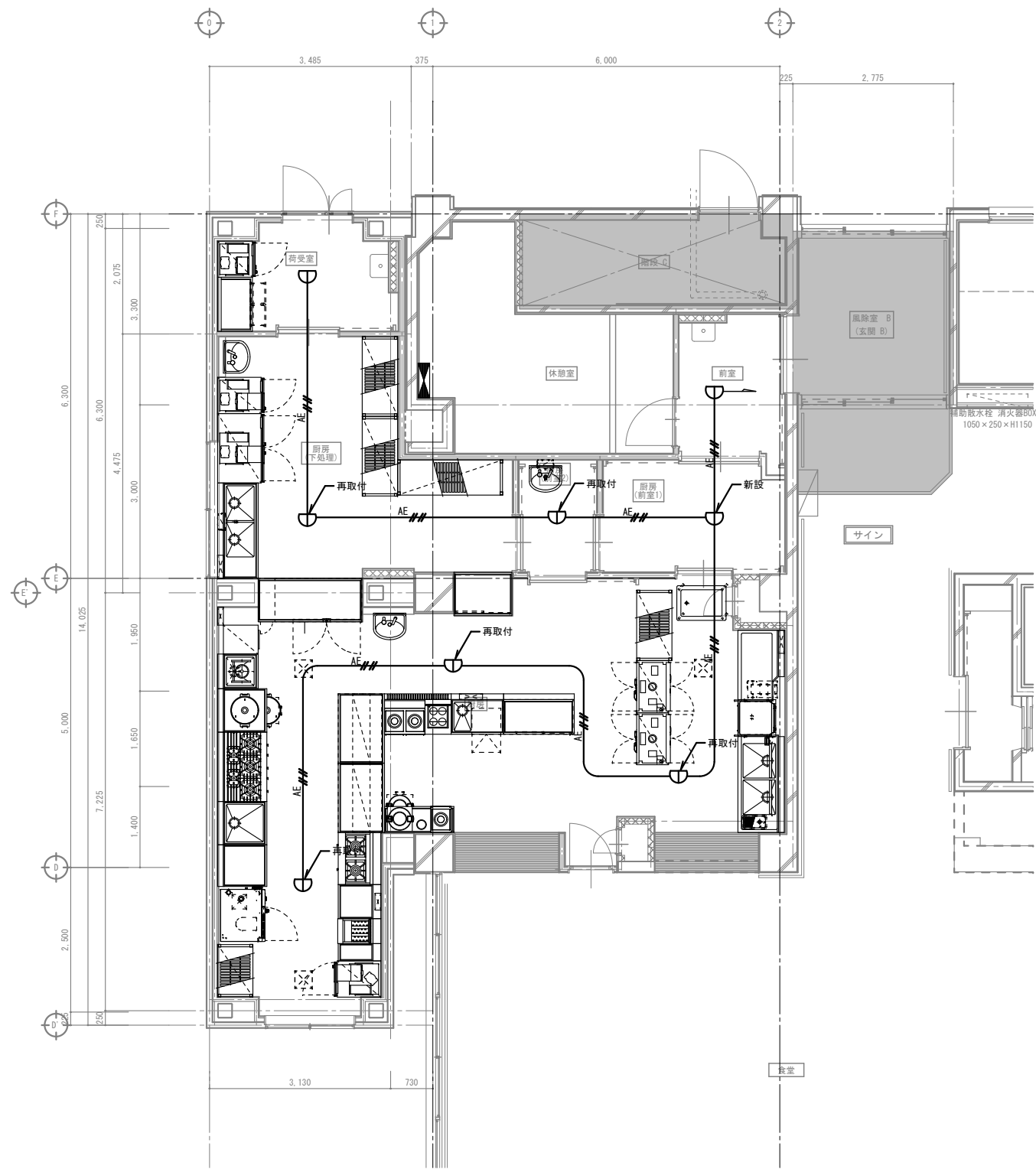
公共品番：
1-32.5 LSS9MP/RP-4-46 消費電力：32.5W





現状
自動火災報知設備詳細図

※天井内部 光電式煙感知器は既存のままとする



改修後
自動火災報知設備詳細図

凡例	
	定温スポット型感知器 1種防火型
特記無き配管・配線は下記による。	
	EM-AE 1.2-4C x 1 (PF16)
P.F配管は壁面のみとし、2重天井内はこしがし配線とする。	
	撤去を示す



訂	・	訂	・	訂	・
正	・	正	・	正	・

FILE No.	
工事名	旧ケアセンターおおつ棟改修工事

旧ケアセンターおおつ棟	SCALE	E
現状 改修後 自動火災報知設備平面詳細図	1:50 (A1)	No.
		7

種目 項目 特記事項

- 排水設備
- 給湯設備
- 消火設備
- ガス設備
- 浄化槽設備
- 撤去工事
- その他

○ 外部足場 (本工事で設置の場合)

外部足場の仕様は四面特記部分を除き、以下による。

○ 室内空気中の化学物質の濃度測定

室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、及びパラジロロベンゼンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。

測定はパップ型採樣機により行う。

測定時期 ○工事着手前 ○施工終了後

測定対象箇所 ○明示 ○()

測定箇所数 ○明示 ○()

○ 石綿含有建材を

使用した部分について穿孔等作業を行う場合の措置

発注者が引き渡された工事事務所に契約不適合がある、または、契約不適合の疑いがあると判断した場合、発注者の求めがあれば、受注者はこれに立会うこと。

○ 中間検査 ○有()

○ ワンデーレスボンスへの取り組み

1) 発注者及び受注者は、ワンデーレスボンス実施対象工事であることを認識し、工事に取り組みこと。「ワンデーレスボンス」とは受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

2) 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。

3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

○ 電子納品

工事関係図書等の成果品は、紙媒体に加え、「大津市電子納品適用ガイドライン」(第2版)に基づき、電子媒体によっても納める。なお、電子納品の対象物は下記による。

※完成図及びその他書類(監督職員との工事着手時の協議により決定する。)

●完成図のみ

● 配管材料一覧(図面特記部分を除く)

(給排水衛生配管)

品名	規格	給水	排水	給湯	消火	都市ガス
配管用炭素鋼鋼管	SGP白 (JIS G 3452)	○	○	○	○	○
配管用炭素鋼鋼管	SGP黒 (JIS G 3452)	○	○	○	○	○
水道用硬質塩化ビニル樹脂管 (ラジック付硬質塩化ビニル樹脂管)	SGP-VA (JWWA K 116) SGP-FVA (NSP 011)	○	○	○	○	○
水道用硬質塩化ビニル樹脂管 (ラジック付硬質塩化ビニル樹脂管)	SGP-VB (JWWA K 116) SGP-FVB (NSP 011)	○	○	○	○	○
水道用硬質塩化ビニル樹脂管 (ラジック付硬質塩化ビニル樹脂管)	SGP-VD (JWWA K 116) SGP-FVD (NSP 011)	○	○	○	○	○
水道用耐熱性硬質塩化ビニル樹脂管	SGP-HVA (JWWA K 140)	○	○	○	○	○
水道用耐熱性硬質塩化ビニル樹脂管	SGP-VS (NSP 041)	○	○	○	○	○
水道用耐熱性硬質塩化ビニル樹脂管	SGP-FNP (NSP 067) SGP-RNP (NSP 067)	○	○	○	○	○
水道用耐熱性硬質塩化ビニル樹脂管	SUS304TPD (JIS G 3448) SUS316TPD (JIS G 3448)	○	○	○	○	○
水道用耐熱性硬質塩化ビニル樹脂管	SUS304TP (JIS G 3459) SUS316TP (JIS G 3459)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	硬質(M) (JIS H 3300)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	(JIS H 3330)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	保溫付被覆鋼管 (JGDA 0008)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	HIVP (JIS K 6742)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	XM PH15 (JIS K 6769)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	FB (JIS K 6778)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	HTVP (JIS K 6776)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	PIH (JIS G 3469)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	GE (JIS K 6774)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	SGPW (JIS G 3442)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	D-VA (NSP 042)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	SGP-NTA (NSP 032)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	VP (JIS K 6741)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	VU (JIS K 6741)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	3-TP (JIS K 6741)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	FDP (国交大臣認定品)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	HP (JIS A 5372)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	硬質(M) (JIS H 3300)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	(JIS H 3330)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	難燃性PE付 (JGDA 0009)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	XM PH15 (JIS K 6769)	○	○	○	○	○
鋼及び鋼合金の継目無管	FB (JIS K 6778)	○	○	○	○	○

特記事項：(液化石油ガス配管の材料は、都市ガス配管の材料に準ずる。)

● 保温工事仕様表(図面特記部分を除く)

1) 保温工事の施工場所別仕様については、標仕によるほか、下表による。ただし、本表に記載のない区分については、標仕による。保温材は、標仕に規定される密度を有しないものは、使用してはならない。

区分	施工箇所	屋内露出 (一般居室、廊下)		機械室、書庫、倉庫		天井内、パイプ/ダクト/シャフト内 及び空調室中		屋外露出 (ビッド内含む)		屋外露出・多湿箇所 (厨房天井内は除く)	
		材料、施工順序	保温材の厚み	材料、施工順序	保温材の厚み	材料、施工順序	保温材の厚み	材料、施工順序	保温材の厚み	材料、施工順序	保温材の厚み
給排水衛生設備工事の保温	給水管	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ※合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ●カラー亜鉛鉄板	VII	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス	VII	1. アルミガラスクロス化粧 グラスウール保温帯 2. アルミガラスクロス 粘着テープ	VII	1. ポリスチレンフォーム保温帯 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	VII	1. ポリスチレンフォーム保温帯 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	VII
	消火管	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ※合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ●カラー亜鉛鉄板	I	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス	I	1. アルミガラスクロス化粧 グラスウール保温帯 2. アルミガラスクロス 粘着テープ	I	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	I	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	I
	給湯管(湯張り管含む)	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ※合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ●カラー亜鉛鉄板	VII	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス	VII	1. アルミガラスクロス化粧 グラスウール保温帯 2. アルミガラスクロス 粘着テープ	VII	1. ポリスチレンフォーム保温帯 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	VII	1. ポリスチレンフォーム保温帯 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	VII
	排水及び 通気管	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ※合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ●カラー亜鉛鉄板	VII	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス	VII	1. アルミガラスクロス化粧 グラスウール保温帯 2. アルミガラスクロス 粘着テープ	VII	1. ポリスチレンフォーム保温帯 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	VII	1. ポリスチレンフォーム保温帯 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	VII
	排気管	1. ロックウール保温帯 2. 鉄線 3. カラー亜鉛鉄板	IX	1. ロックウール保温帯 2. 鉄線 3. カラー亜鉛鉄板	IX	1. ロックウール保温帯 2. 鉄線 3. アルミガラスクロス 4. きっ甲金鋼	IX	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. アルミガラスクロス 4. 着色アルミガラスクロス	IX	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	IX
空調設備工事の保温	冷水管 冷温水管 (湯張り管含む)	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ※合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ●カラー亜鉛鉄板	III	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 原紙 5. アルミガラスクロス	III	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. アルミガラスクロス 4. アルミガラスクロス 粘着テープ	III	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	III	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	III
	冷媒用 断熱材 被覆鋼管	(外装材指定) 1. ※カラー亜鉛鉄板 ○合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ○保温化粧ケース		(外装材指定) 1. ※カラー亜鉛鉄板 ○合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ○保温化粧ケース				(外装材指定) 1. ※カラー亜鉛鉄板 ○合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ○保温化粧ケース		(外装材指定) 1. ※カラー亜鉛鉄板 ○合成樹脂製カバー-1 ○合成樹脂製カバー-2 ○保温化粧ケース	
	長方形 ダクト	1. 紙 2. グラスウール保温帯 3. ※カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板	XI	1. 紙 2. アルミガラスクロス化粧 グラスウール保温帯 3. アルミガラスクロス 粘着テープ	XI	1. 紙 2. グラスウール保温帯 3. アルミガラスクロス 粘着テープ	XI	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	XI	1. 紙 2. グラスウール保温帯 3. ポリエチレンフィルム 4. 鉄線 5. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	XI
	パイプ ダクト	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ※カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板	XI	1. アルミガラスクロス化粧 グラスウール保温帯 2. アルミガラスクロス 粘着テープ	XI	1. アルミガラスクロス化粧 グラスウール保温帯 2. アルミガラスクロス 粘着テープ	XI	1. アルミガラスクロス化粧 グラスウール保温帯 2. アルミガラスクロス 粘着テープ	XI	1. グラスウール保温帯 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 鉄線 5. ※ステンレス鋼板 ○カラー亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム-亜鉛 鉄板(ガルバリウム鋼板)	XI

(注記)

- ・ 通気管の保温は排水管からの分岐部から100mm以内の範囲に限り施工する。
- ・ 本工事で、保温工事に係る多量箇所は()とする。
- ・ 冷媒用断熱材被覆鋼管の保温仕様については、変形や歪みを生じないように適切に施工すること。
- ・ 空調機の冷媒管及びドレン管の保温仕様については、屋内露出部分でかつ壁面支持する場合、樹脂製保温化粧ケースを使用すること。

○ 埋設表示標施工要領図

1) 地中埋設標(※コリト製 ○樹脂製)

a) 舗装のない場合

b) 舗装のある場合(特記のある場合のみ)

2) 地中埋設標(鉄製)

a) 舗装のない場合

b) 舗装のある場合のみ

※標頭には、図示の矢印及び「水」、「ガス」、「油」等の用途を表示する。コリト製のものにあつては、影込み表示とする。

○ 撤去工事

● 冷媒(フロン類)の処理

● その他

● 環境への配慮

(1) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成28年2月閣議決定)」による。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(ア)から(エ)を満たすものとする。

(ア) 合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、塗料、仕上塗材、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

(イ) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン、及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

(ウ) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が追加されていない材料を使用する。

(エ) (ア)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の(ア)又は(イ)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の(ウ)又は(エ)に該当する材料を指す。

(ア) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種、及び第三種ホルムアルデヒド発散建築物材料以外の材料

(イ) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

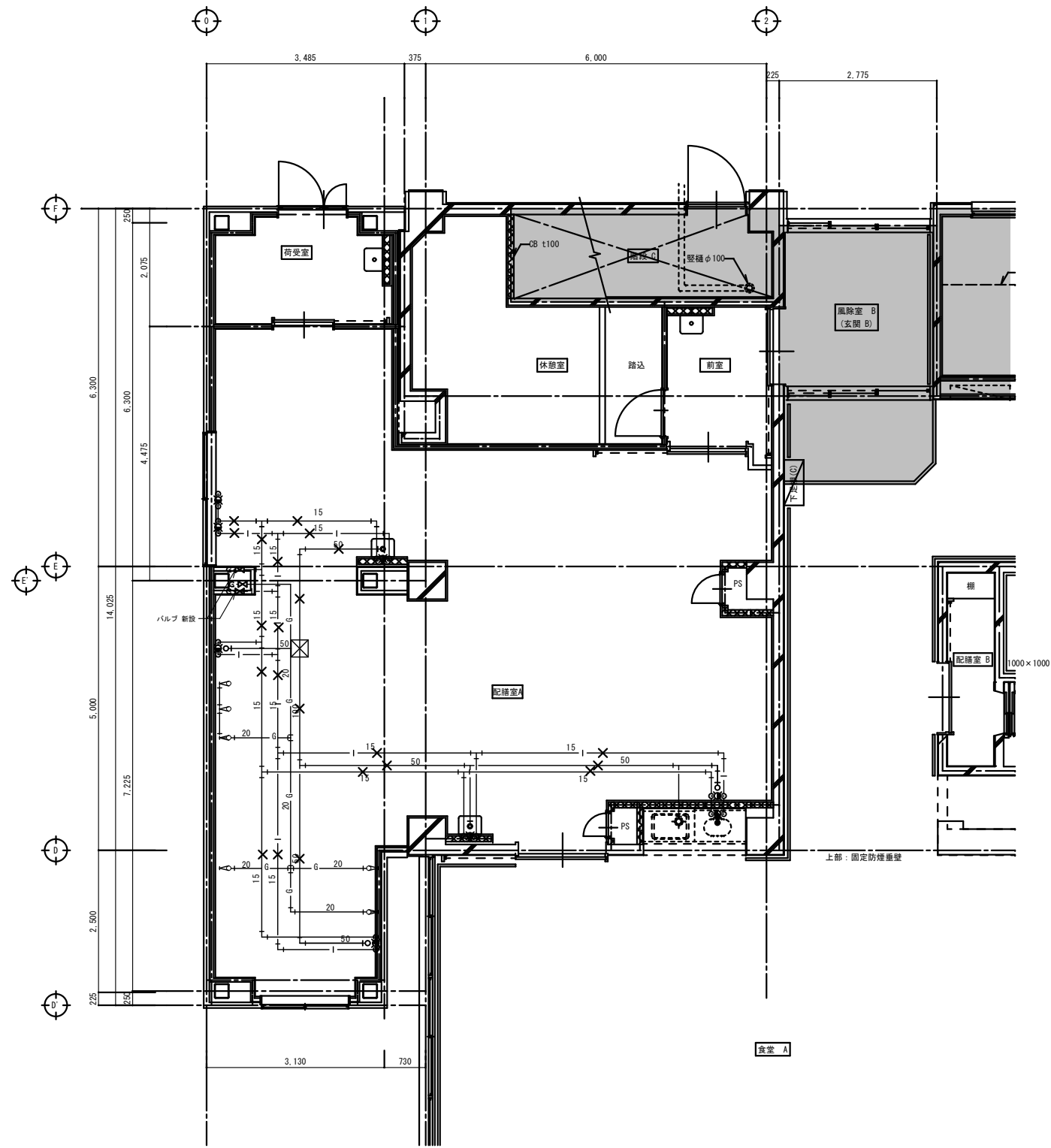
(ウ) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築物材料

(エ) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

使用機材等指定表（機械の部）

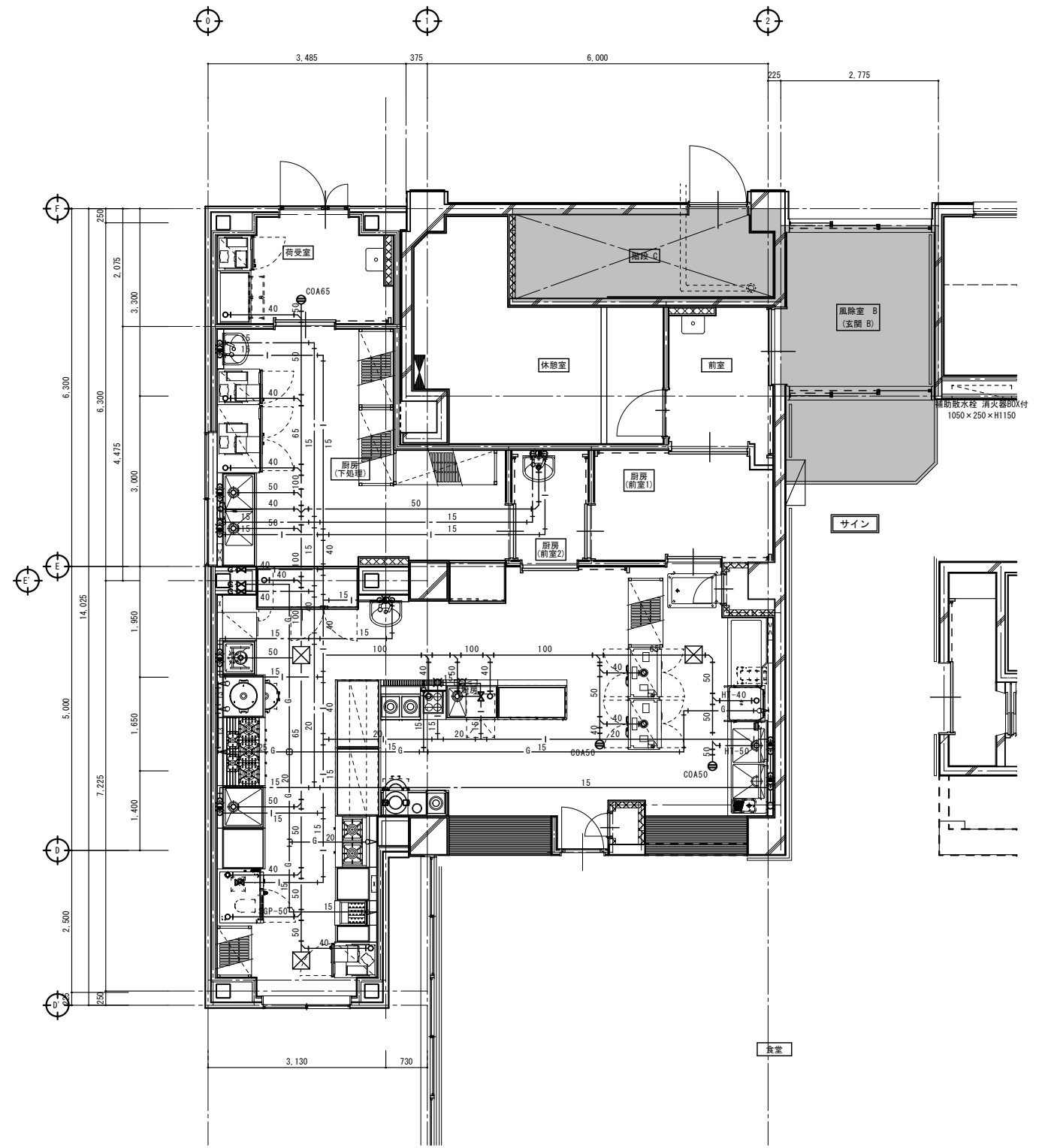
分類	機材名	適用範囲	製造者等	分類	機材名	適用範囲	製造者等	分類	機材名	適用範囲	製造者等	分類	機材名	適用範囲	製造者等
ボイラ	鋼製高圧ボイラ及び簡易高圧ボイラ		㈱IH1汎用ボイラ 川重冷熱工業㈱ ㈱サムソン ㈱日本サーモエナー ㈱前田鉄工所 三浦工業㈱	空気調和機	ガスファンヒーター形式空気調和機		アイシン精機㈱ ダイキン工業㈱ パナソニック㈱ 三菱重工冷熱㈱ ヤンマーエネルギーシステム㈱	ダクト付属品	吹出口・吸込口	シーリングディフューザー スリット形吸込口 ノズル形吹出口 ユニバーサル形吹出口 線状吹出口	㈱有馬工業所 協同工業㈱ 協立エアテック㈱ 空研工業㈱ ニッケイ㈱ 精工工業㈱ ㈱フカガワ 丸光産業㈱	厨房機器	厨房システム		㈱アイホー タニコー㈱ ㈱中西製作所 日本調理機㈱ ㈱フジマック ホシザキ㈱ ㈱マルゼン カネソウ㈱ ㈱小島製作所 ダイドレ㈱ ㈱中部コーポレーション ㈱長谷川精工所 福西鋳物㈱
	鋼製ボイラ及び鋼製簡易ボイラ		㈱IH1汎用ボイラ 川重冷熱工業㈱ ㈱サムソン ㈱日本サーモエナー ㈱ヒラカワ ㈱前田鉄工所 三浦工業㈱		エアフィルター	パネル形、折込み形	㈱アクシー ㈱忍足研究所 金井重要工業㈱ 近藤工業㈱ ニッタ㈱ 日本エアフィルター㈱ 日本バイリーン㈱ 日本無機㈱ ミドリ安全エア・クオリティ㈱ ㈱ユニバック		風量ユニット	定風量ユニット 変風量ユニット	エアコンスター㈱ 協立エアテック㈱ 空研工業㈱ クボタ空調㈱ クリフ工業㈱ 新晃工業㈱ 東フレ㈱		排水金具		カネソウ㈱ ㈱小島製作所 ダイドレ㈱ ㈱中部コーポレーション ㈱長谷川精工所 福西鋳物㈱
	鋼製ボイラ		㈱IH1汎用ボイラ 川重冷熱工業㈱ ㈱高尾鉄工所 ㈱日本サーモエナー ㈱ヒラカワ		自動巻取形		金井重要工業㈱ 近藤工業㈱ 東洋空気調和㈱ ニッタ㈱ 日本エアフィルター㈱ 日本バイリーン㈱ 日本無機㈱		自動制御	自動制御システム	アーチバック㈱ アズビル㈱ シヨウコウコンロ-&ス' ㈱ パナソニックエレクトロニクス' ㈱ 三菱電機㈱		自動制御システム		アロン化成㈱ 積水化学工業㈱ タキロンシーアイ㈱ 前澤化成工業㈱
温水発生機	温水発生機	真空式	昭和鉄工㈱ ㈱日本サーモエナー ㈱ヒラカワ ㈱前田鉄工所 昭和鉄工㈱ ㈱巴商會 ㈱前田鉄工所	空気清浄装置	電気集じん器	自動巻取形、パネル形	東洋空気調和㈱ 日本エアフィルター㈱ 日本バイリーン㈱ ミドリ安全エア・クオリティ㈱	タ	密閉形隔膜式膨張タンク	空調用給湯用	積水アクアシシステム㈱ HITANK㈱ 三菱ケミカルインフラテック㈱	排水タンク	ポリエチレン製		積水化学工業㈱ タキロンシーアイ㈱ ㈱トーテツ ネボン㈱
		無圧式	昭和鉄工㈱ ㈱日本サーモエナー ㈱ヒラカワ ㈱前田鉄工所 昭和鉄工㈱ ㈱巴商會 ㈱前田鉄工所		全熱交換器	回転形	㈱西部技研 高砂丸鉄インフラサービス㈱ テラル㈱ ダイキン工業㈱ テラル㈱ 東芝キャリア㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 日立グループ・インフラテクノス' ㈱ 三菱電機㈱		FRP製パネルタンク		日立金属㈱ ホーコス㈱		塩ビ製		アロン化成㈱ 積水化学工業㈱ タキロンシーアイ㈱ 前澤化成工業㈱
冷凍機	チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット		荏原冷熱システム㈱ ダイキン工業㈱ 東芝キャリア㈱ 日本熱源システム㈱ 日立グループ・インフラテクノス' ㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱電機㈱	全熱交換器	全熱交換ユニット		㈱荏原製作所 ㈱タニヤマ テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱	タ	ステンレス鋼板製パネルタンク	浴槽組立形 ボルト組立形	㈱小笠原工業所 ㈱ベルテクノ 森松工業㈱ 積水アクアシシステム㈱ 三菱ケミカルインフラテック㈱	防災機器	防煙ダンパー 防火ダンパー 防煙・防火ダンパー		日本防煙工業会「自主適合マーク」 貼付品又は国土交通大臣の認定を受けたもの
	吸収冷凍水機		荏原冷熱システム㈱ 川重冷熱工業㈱ パナソニック㈱ 日立グループ・インフラテクノス' ㈱ 矢崎エナジーシステム㈱		送風機	多翼形送風機	㈱荏原製作所 ㈱タニヤマ テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱		製缶類	罐連・製缶類			㈱N.Y.K.西日本 三成鉄工所 ㈱島倉鉄工所 日立金属㈱ ㈱ベルテクノ ホーコス㈱ 森松工業㈱	ガス器具類	
冷凍機	吸収冷凍水機		荏原冷熱システム㈱ 川重冷熱工業㈱ パナソニック㈱ 日立グループ・インフラテクノス' ㈱ 矢崎エナジーシステム㈱	送風機	斜流送風機		㈱荏原製作所 ㈱タニヤマ テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱	清	屋内消火栓箱 放水口・送水口 ノズル 消防用機械器具等		消防法に基く規格及び基準に合格し、「消防法」で定められた表示を付したのもの	消防器具類	防煙ダンパー 防火ダンパー 防煙・防火ダンパー		日本防煙工業会「自主適合マーク」 貼付品又は国土交通大臣の認定を受けたもの
	遠心冷凍機		荏原冷熱システム㈱ ダイキン工業㈱ トレイン・ジャパン㈱ 日立グループ・インフラテクノス' ㈱ 三菱重工冷熱㈱		軸流送風機		㈱荏原製作所 ㈱タニヤマ テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱		スプリンクラー消火システム		ニッタン㈱ 日本ドライケミカル㈱ 能美防災㈱ ㈱初田製作所 ホーテキ㈱ モリタ宮田工業㈱ ヤマトプロテック㈱		ガス漏れ警報装置	ガス漏れ警報器	
冷却塔	冷却塔		荏原冷熱システム㈱ 空研工業㈱ 東芝キャリア㈱ 日立グループ・インフラテクノス' ㈱ 三菱ケミカルインフラテック㈱ 矢崎エナジーシステム㈱	送風機	軸流送風機		㈱荏原製作所 ㈱タニヤマ テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱	清	不活性ガス消火システム		エア・ウォーター防災㈱ ㈱コーアツ 東京計器㈱ ニッタン㈱ 日本ドライケミカル㈱ 能美防災㈱ ㈱初田製作所 ホーテキ㈱ モリタ宮田工業㈱ ヤマトプロテック㈱	電気温水器			TOTO㈱ ㈱日本イミミック ㈱LIXIL
	ユニット形空気調和機		木村工機㈱ クボタ空調㈱ 昭和鉄工㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 高砂丸鉄インフラサービス㈱ 暖冷工業㈱ 東芝キャリア㈱ 三菱重工冷熱㈱		排煙機		(一財)日本建築センターの性能評価マークが貼付されたもの		消音ボックス付送風機		㈱荏原製作所 テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱		ガス給湯器		
空気調和機	ファンコイルユニット	カセット形含む	木村工機㈱ 昭和鉄工㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 暖冷工業㈱ 東芝キャリア㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱電機冷熱応用システム㈱	ボ	横形遠心ポンプ	小型渦巻ポンプ 小型多段遠心ポンプ 両吸込渦巻ポンプ	㈱荏原製作所 ㈱川本製作所 ㈱相互ポンプ製作所 テラル㈱ ㈱日立産機システム	火	泡消火システム		ニッタン㈱ 日本ドライケミカル㈱ 能美防災㈱ ㈱初田製作所 ホーテキ㈱ モリタ宮田工業㈱ ヤマトプロテック㈱	ろ過循環設備			㈱成研 東洋濾水機㈱ ㈱日本サーモエナー ミウラ化学装置㈱ 理水化学㈱ ローレル㈱
	コンパクト形空気調和機		木村工機㈱ クボタ空調㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 暖冷工業㈱ 三菱重工冷熱㈱		水中モーターポンプ	汚水用 雑用水用 汚物用	アイム電機工業㈱ ㈱荏原製作所 エレポン㈱ ㈱川本製作所 新明和工業㈱ ㈱相互ポンプ製作所 ㈱鶴見製作所 テラル㈱ ㈱日立産機システム		不活性ガス消火システム		エア・ウォーター防災㈱ ㈱コーアツ ニッタン㈱ 能美防災㈱		バルク供給装置		
空気調和機	パッケージ形空気調和機	マルチタイプ含む	ダイキン工業㈱ 東芝キャリア㈱ パナソニック㈱ 日立グループ・インフラテクノス' ㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱電機㈱	ボ	立形遠心ポンプ		㈱荏原製作所 グルンドフォスポンプ㈱ ㈱鶴見製作所 テラル㈱	火	泡消火システム		エア・ウォーター防災㈱ ㈱コーアツ ニッタン㈱ 能美防災㈱	ろ過循環設備			I.T.O.㈱ カグラバーバーテック㈱ 中国工業㈱ 富士工器㈱ 矢崎総業㈱
			ダイキン工業㈱ 東芝キャリア㈱ パナソニック㈱ 日立グループ・インフラテクノス' ㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱電機㈱		加圧給水ポンプユニット		㈱荏原製作所 ㈱川本製作所 テラル㈱ ㈱日立製作所		泡消火システム		エア・ウォーター防災㈱ ㈱コーアツ ニッタン㈱ 能美防災㈱		バルク供給装置		

注：掲載されている製造者等の名称に変更のある場合には、当該業者の製品を継続して取り扱う後継の製造者名に替り替えること。



現況 給排水設備平面詳細図

- 特記事項
- 1) 図中X印は、撤去を示し、今回不要になる部分を示す。実線は既設を示す。
 - 2) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 3) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認承諾の上、工事を行う事。
 - 4) 改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 5) 不要の配管は、改修工事が完了後速やかに、閉栓及び撤去する事。
 - 6) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 7) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。
また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。



改修後 給排水設備平面詳細図

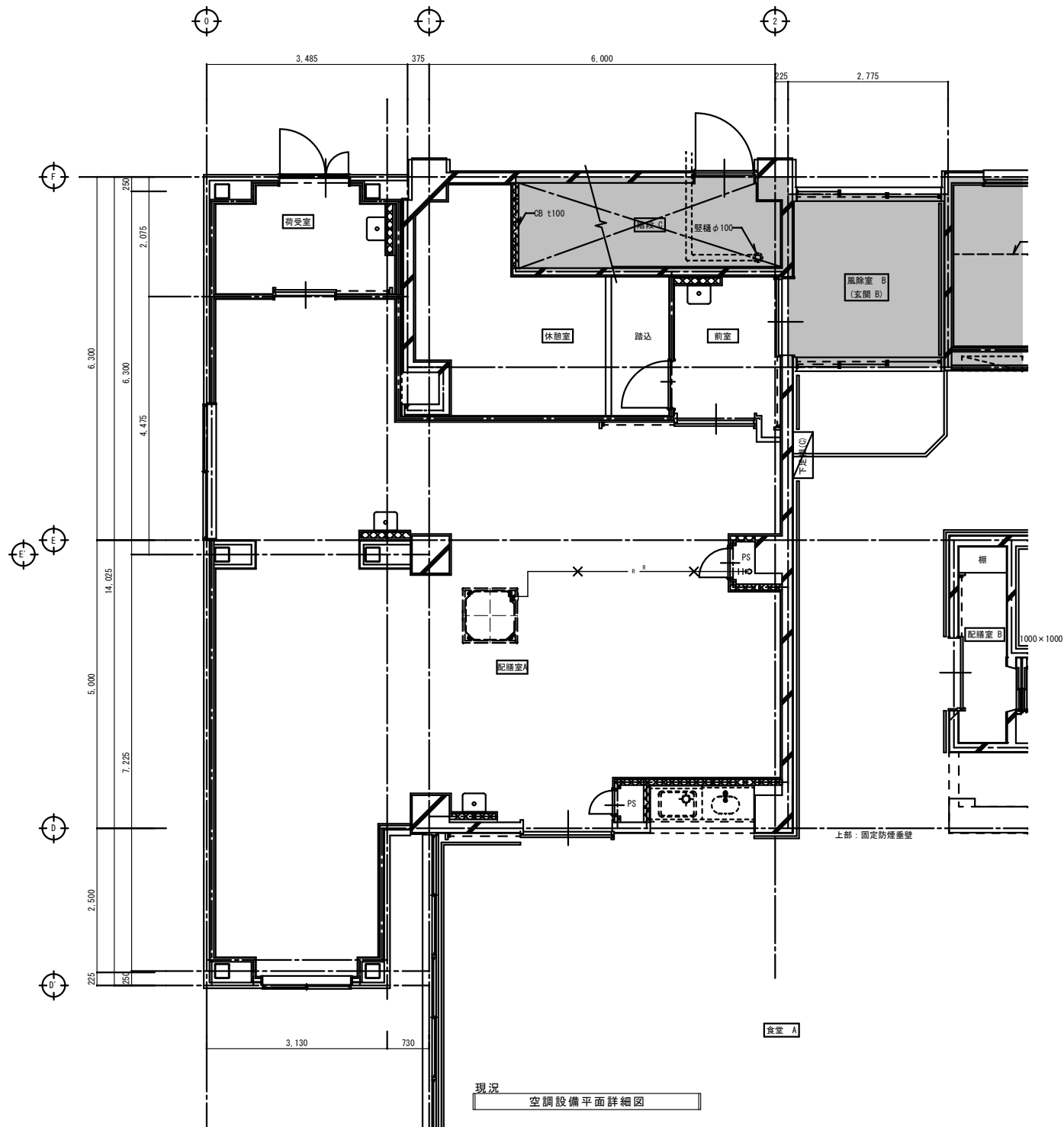
【衛生器具リスト】

名称	参考品番	付属器具	厨 房	厨 房 (下 処 理 室)	厨 房 (前 室 1)	厨 房 (前 室 2)	荷 受 室	前 室	休 憩 室	合 計	備 考
洗面器	L270C	混合水栓 TLG04101J、排水金具 TLDP2201J、取付金具 TL220D	1	1	1					3	

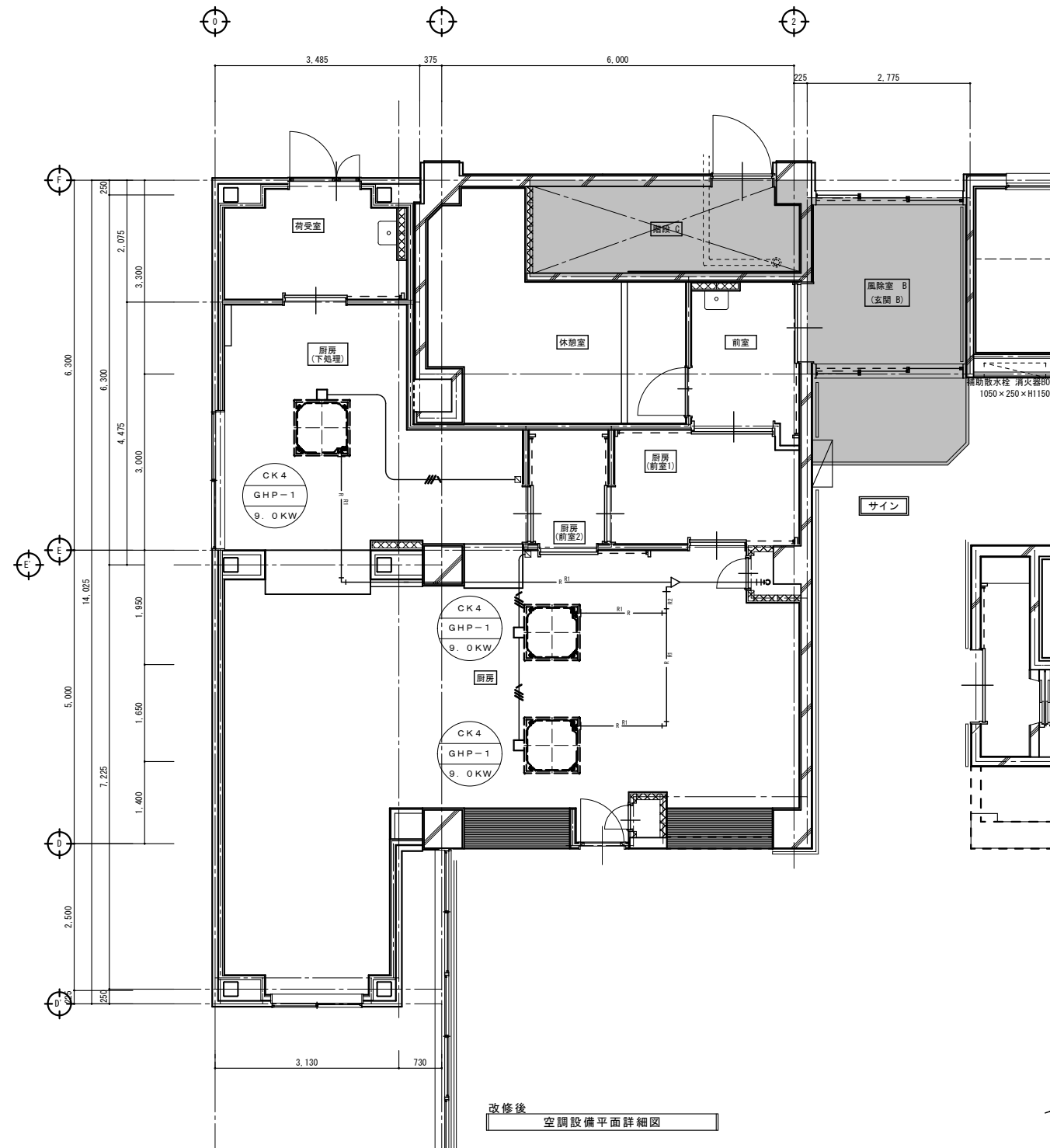


新設 機器リスト

図面記号	名称	仕様	電気容量	数量	備考	図面記号	名称	仕様	電気容量	数量	備考
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン	型式 ビル用マルチ室内機、天井埋込カセット型 (4方吹出) 自動昇降パネル共	1φ200V 室内ファン 0.053 Kw	3		FEY-1	有圧換気扇	型式 低騒音型 (排気用)	3φ200V 0.75 KW	1	EMF-50FTA
CK4		冷房能力 9.0KW 暖房能力 10.0KW	消費電力 冷房: 0.128 Kw		ダイキン同等品			羽根径 φ500 風量 7200m³/h 静圧 110Pa			三菱同等品
		2次側電源制御配線 (リモコン共) 本工程 冷媒配管φ9.5 x φ15.9			新設			防虫網付ステンレス製ウェザーカバー 騒音 53.5dB			新設
		ドレンアップメカ内蔵、その他付属品1式共						電気式シャッター取付特共			



現況 空調設備平面詳細図

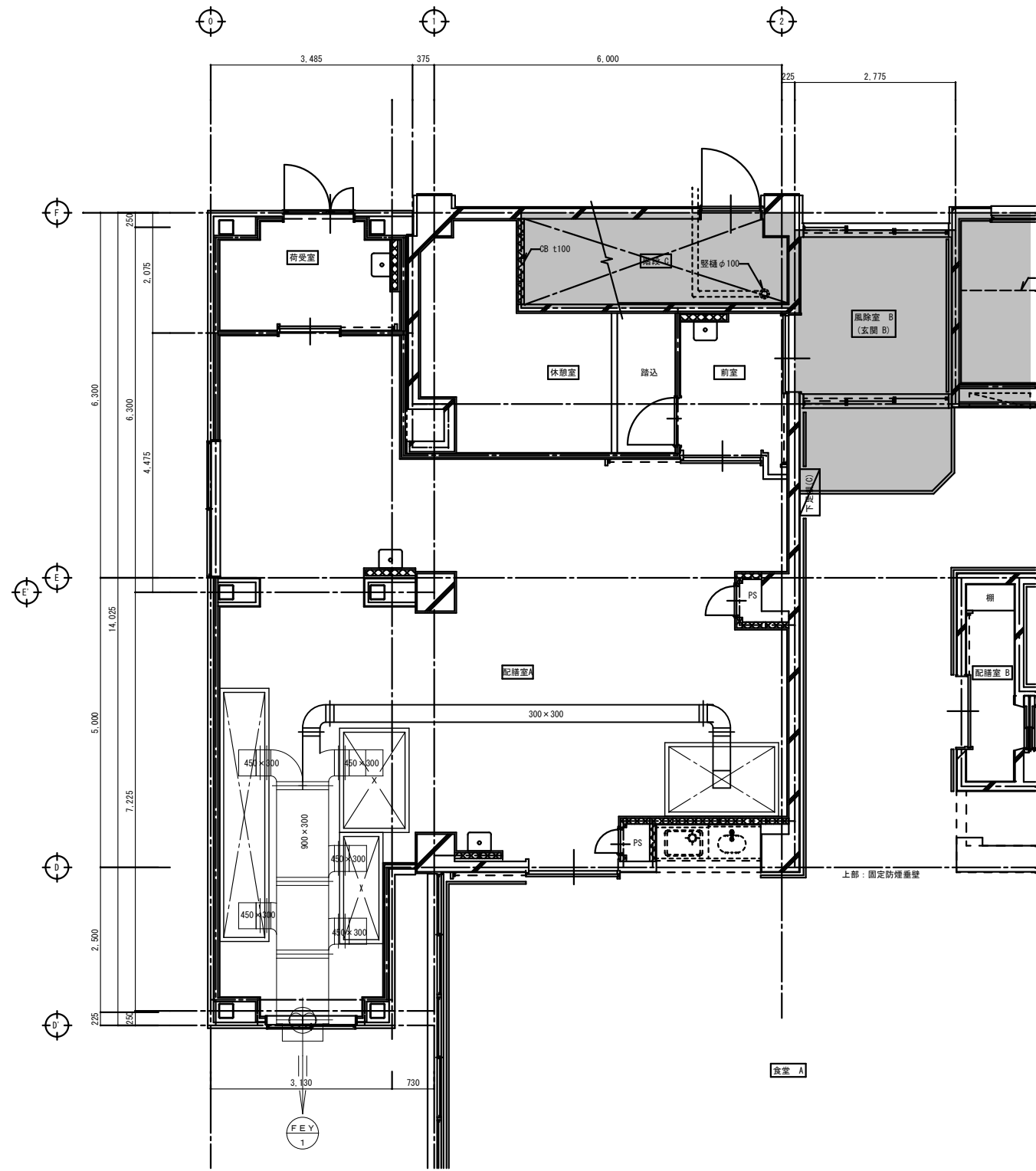


改修後 空調設備平面詳細図

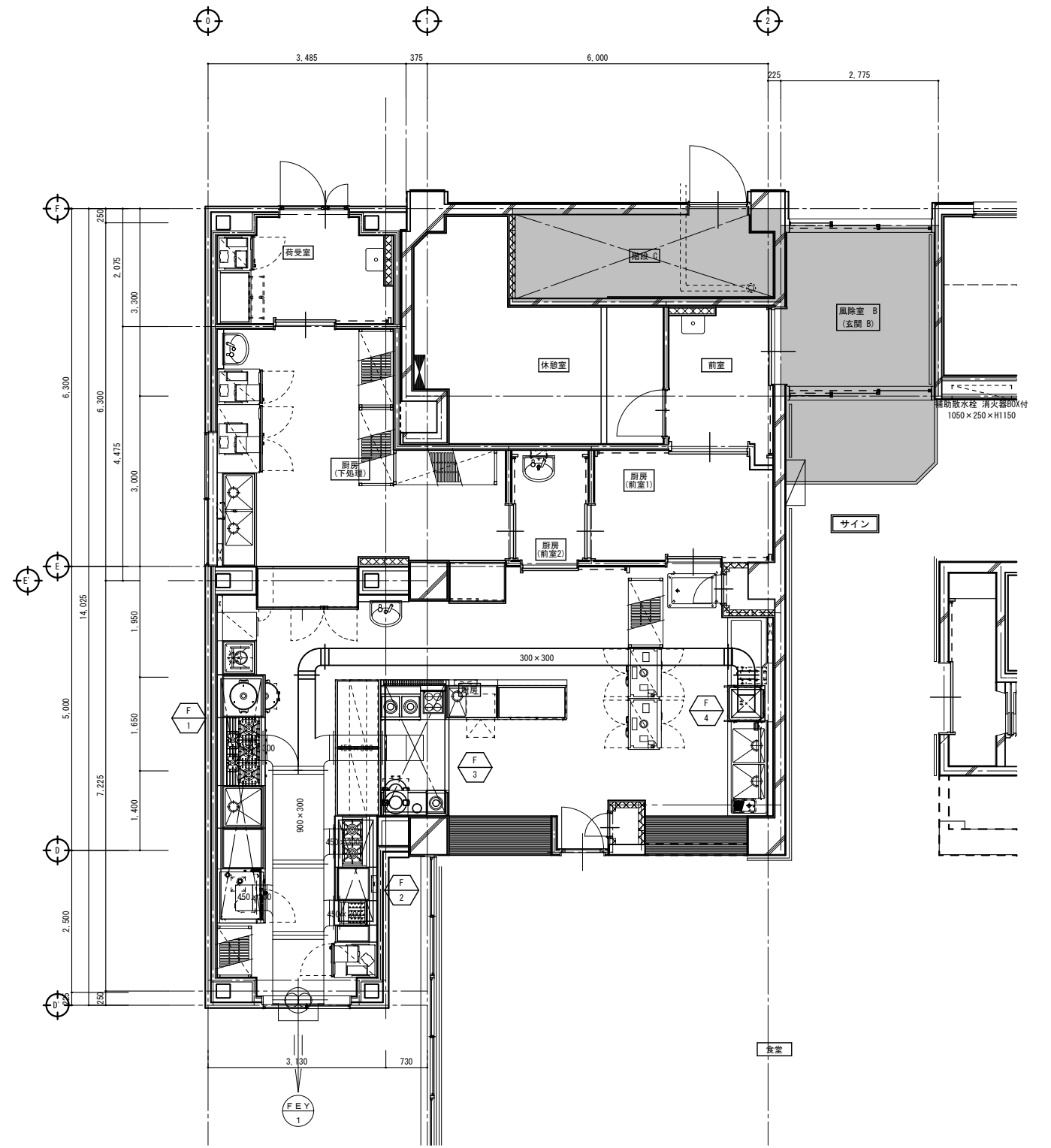
記号	名称	備考
CK, CR, CRK	国交省記号: CK, CR, CRK	
系統	系統: 室外機NO. - 室内機NO.	ガス式: GHP、電気式: ACP (EHP)
冷房能力	冷房能力: Kw	
R	冷媒配管	断熱材被覆銅管 (L) CU
D	ドレン管	塩化ビニール管 VP

図示記号	名称	備考
R1	冷媒配管	φ28.6 x φ12.7
R2	冷媒配管	φ15.9 x φ9.5
R3	冷媒配管	φ19.1 x φ9.5
R3	冷媒配管	φ28.6 x φ12.7

特記事項 (既設改修)	特記なき配管配線は下記に依る。
1) 図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示す。	室内機リモコン回路 EM-AE 1.2-2C
2) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。	
3) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認承諾の上、工事を行う事。	
4) 改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。	1) 2重天井内はケーブル配線とする。
5) 撤去工事に伴う、図示明記無き不貫穴等は原則閉塞の事。	2) ケーブル配線の立上り、立下りはPF管で保護の事。
6) 不要の配管は、改修工事が完了後速やかに、閉栓及び撤去する事。	3) 防火区画、界壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
7) 本工程に必要なと思われる仮設、養生、迂回工事は本工程費用内で施工の事。	4) 図示 [] は、空調用リモコン (機械工事) を示す。
8) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。	
また、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工程内で処理の事。	



現況
換気設備平面詳細図



改修後
換気設備平面詳細図

フードリスト

記号	寸法	備考
F 1	5200 x 850 x 900	SUS製フード グリスフィルター2箇所共
F 2	1900 x 750 x 900	SUS製フード グリスフィルター2箇所共
F 3	2400 x 1200 x 900	SUS製フード グリスフィルター共
F 4	650 x 6500 x 900	SUS製フード グリスフィルター共
		SUS製フード

1) 本工程使用の排気フードは、全てステンレス鋼板1.0tとし継目は溶接とし、必要に応じ補強材(ステンレス材)をフード内部に取り付けること。



IT
E

FILE No.	...	工事名	旧ケアセンターおおつ棟改修工事	SCALE	1:50 (A1)	M
					No.	6